大正九年十一月二十二日第三種郵便物認可

新京日日新聞
夕刊　七月十九日

本紙定價　一部五錢　一ケ月壹圓五拾錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(2)三二〇五　營業局專用(3)三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　木越內之介

日英第二次會談 午前中で一旦終了 午後四時より續行

【東京國通】有田、クレーギー第二次會談は豫定通り十九日午前九時より外相官邸において開催された

【東京國通】有田、クレーギー第二次會談は十九日午後零時十五分一旦終り、クレーギー大使は大使館に引上げたが、午後四時より續行することになつた

會談決裂の場合は 新な强力行動へ 現地軍當局決意固し

【北京十八日發國通】第一次東京日英會談はその當初からわが方の英國側態度の全面修正提議に對し英國側の態度は依然局地問題に終始せんとしつゝあり、全く根本的對立を見せ會談決裂の豫想早くも濃きものがあるが、租界問題の現段階における英國並に支那側大衆の注目は全く會談決裂の場合の現地日本軍の行動力如何に懸り逆說的に會談成功唯一の鍵とさへみられるに至つた、すなはち英國としては東京會談が不成功に終るとしても爾後における日本軍の行動が北支權益に重大なる脅威を與へざるほどのものであれば何等の痛痒を感ぜず進んでその敵性を增大し蔣政權を支持することも可能であり、支那側大衆としては反英運動がやうやく軌道に乘つて激發しつゝある際現地日本軍の行動力を失ふにおいては運動が龍頭蛇尾に終ること全く明かなため、眞の積極的方針が充分うかゞへるほどのものとなれば支那側の反英運動はますます熾烈を加へ英國側の打算による讓步も當然期待され會談の成否に一樣の希望を與へるものとされてゐる、かゝる情勢下に於ける現地軍當局の決意は租界隔絕當初より一點の變更もなく會談開始以來現地の檢問檢索は一層嚴重さを加へその行動は一段と强力化しつゝあるものゝ如くであるが會談進行途上英國側の天津襲擊計畫等の重大不逞行動が暴露されたゝめ會談決裂の場合は當然新なる强力行動が發動されるものと豫想されるが、その具體的內容として次の如きものが要望されてゐる

一、白河港口の封鎖　今回の租界隔絕に際し我方の人道的立場から完全なる白河封鎖を行はなかつた處英國側はこれを奇貨として自國艦船に依る食糧その他の搬入は勿論我が檢索陣を突破して逃走した兇支那人を自國船を通じて租界內に遁入せしめ又租界內の共產分子を軍艦によつて護衛しつゝ南方へ逃走せしめる等の甚だしき敵性を示して居るためこの際白河の英船航行の遮斷は自衛上當然必要なりとされて居る

二、租界における一部交戰權の發動　潞安地區の包圍戰に依つて全北支の治安は全く確立され、事實上の交戰地區は殆んどその影を沒するに至つた今日、英國の積極的使嗾によつて天津襲擊計畫が樹立されたことは確實なる根據によつて想像される、支那軍への武器給與と共に北支治安の總體的事情と相俟つて天津が新たな交戰地區と化したことは一點疑を容れざる事實である、租界に對する一部交戰權の發動は全く不可缺とされ我が軍による租界管理の必要は全く當然と見られてゐる

現地英人側大動搖 早くも會談決裂を豫想

【天津十八日發國通】現地英人側では十五日より開かれた東京會談に多大の希望を抱いてゐたが、いざ蓋をあけて見れば有田、クレーギー兩代表間には協議事項に根本的相違を見るに至つたゝめ會談は早くも決裂を豫想されるに至つたので天津在留英人間では俄然空氣は悲觀的に傾き多大の動搖が見えはじめた、即ち東京會談の結果再び日英間に和平が訪れ當地英人の商社も或程度の復活を見られ一般英人の居住にも不安一掃を見るであらうとの期待が空しくなつて來た、狼狽をはじめた英國商社の一部ではその主要事務の大部分を上海或は香港に移轉し北支の事業經營の一時的閉鎖を協議しつゝありこの一兩日のこれ等各地及びロンドン間に現地英商との商用秘密電報の往復が俄然增加し英國側商工會議所を殺氣立たしめた、一方一般在留英人間では會談決裂の次に來るものに對し當然日本側は檢問檢索の强化隔絕手段のより徹底化の術に出るであらうと早くも新事態を豫想して恐慌氣分に襲はれ夏季休暇を利用し米國、香港、濠洲又はカナダ方面に引揚げを策し、旅行を企圖するもの激增してゐる、一方在留英人婦女子は出來るだけ速かに他の地方に轉住せんとし目下英人各方面で具體的方法を考慮してゐるが、これ等引揚げ或は歸還準備の英人婦女子の照會でトーマスクック旅行社又は外國系汽船會社では頗る多忙を極めてゐる、さらにこれ等英人は全支各地の反英熱に脅かされてゐるので英本國政府は全支各地の出先官憲に指令を發し英人の北支各地天津、北京、青島等への旅行禁止方を注意して來てゐる、東京會談の進展を前にして現地英人軍官民の狼狽その極に達し早くも北支總退却の氣配濃厚となつてゐる

南昌大橋渡初式

都市稅務協議會

全滿各都市地方稅の合理化調整を目指す第七回全滿都市稅務協議會は十九日午前九時より新京特別市會議室に於て各都市稅務擔當者二十餘名、これに政府側代表として經濟部山梨稅務司長、紀內地方稅科長、坂上事務官、總務廳地方處長、新京稅捐局池田副局長、協和會中央本部村上、津田兩參與列席のもとに開かれ、先づ開會につぎ、日滿國旗に敬禮、梅岡新京特別市公署稅務科長の開會の辭、挨拶來賓祝辭あり梅岡稅務科長議長席につき議事進行に入り、午前中に省地方費稅牲畜稅の市縣委讓方請願の件、省地方費稅たる牲畜稅を地方稅（縣旗市稅）に移讓方要望の件、地方財政確立の爲地方稅制改革要望の件、衛生統制と市稅側の不均衡是正方要望の件、法人營業稅超過所得附加捐徵收を市に歸屬要望の件、觀覽捐等の免稅範圍に關し各市同一取扱方の件等を審議、隔意なき意見を開陳し當局の善處を要望するところあつた、なほ午後は一時より再開、二十日、二十一の兩日に亙り續行されることゝなつてゐる

北支に熾烈な叫び 講演會反英大會に一轉

【北京十八日發國通】北京に頻發した英人暴行事件に俄然惡化しつゝある現地日支市民の反英熱は日英會談における英國側の依然たる援蔣持續の態度に更にその憤激の度を昂め、十八日午後七時半東單牌樓廣場に開催された北京居留民團、鄉軍分會共同主催の講演大會において、講演者鈴木少佐が新東亞建設、英の對支政策について熱辯を揮つて終了するや聽衆約三千の日本人は反英憤激の情になほ去りやらず緊急動議をもつて直ちに第三大反英居留民大會に一轉し各居留民は熾烈な反英の叫びをあげ

暴戾なる英國は第一次日英會談において具體的問題討議を云々する老獪なる態度に出でその認識を改めず援蔣政策を持續し東亞新秩序の建設を阻害せんとするに對し吾人は一致協力かゝる英國の態度を斷乎全面的に排擊す、中央は强硬なる主張をもつて邁進しその目的を貫徹せんことを望む

旨の反英決議を行ひこれを中央に打電することに決定した日英會談の經過と共にこれ等日支兩國民の反英運動は益々深刻化する一方である

澤州の背後を扼す 我包圍に敵極度に狼狽

【北京十八日發國通】潞安、澤州を中心に蟠居する廿萬の敵軍を一擧潰滅すべく大包圍網を張つて進擊するわが地上部隊は峻嶮なる山西の山嶽に加へて作戰開始當初山西一帶を襲つた豪雨のため大行山脈の道路は浸水二米に達して兵馬、砲車を流す大氾濫となつて皇軍勇士を惱し敵遊擊隊はわが進擊を阻まんと必死の抵抗を續け蔣介石又この作戰を重要視して

日本軍は山西の肅清完了せば黃河を渡河し進擊を開始せん、日軍の進擊作戰を喰止めるために潞安地區を死守せよ

との嚴命をすら發し山西東南の一角をあくまで死守せんと企圖してゐたが勇猛果敢なわが勇士はあらゆる惡條件を克服し泥塗れの進擊を續けること二週間、泥濘のため兵站連絡さへ暫く杜絕したが意氣益々軒昂頑敵の抵抗を一擊にして破碎しつゝ猛進擊を重ね南下の山崎、黃薬兩部隊が長驅して早くも共產軍の牙城潞安を陷れゝばこれに相呼應する各部隊はわが猛擊に堪え切れず次第に南方に下つて澤州を中心に集結した敵に向つて攻擊を集中、同蒲線方面より進擊の廣宗部隊の先遣隊は既に十五日澤州西方四十キロの陽城を占領、澤木部隊また沁水より、高平に向つて猛攻中であり淸化鎮方面より省境附近の最も峻嶮な山嶽地帶を强行突破の○○部隊は天井關、老馬嶺に進出し今や完全に澤州の敵の背後を扼したので敵は遂に唯一の退走路すら失ひ刻々迫る包圍潰滅の前に極度に狼狽してゐる

林縣に入城

【○○基地十八日發國通】わが地上軍の急追擊に敗敵は河南、山西省境に退却中との報に接したわが陸の荒鷲堀川、石橋兩部隊の○機は十八日午後五時勇躍出動合間油村、揚家井に據る敗敵に巨彈の雨を降らせこれを完膚なきまで粉碎全機無事歸還した、わが偵察によれば林縣は十八日午前早くもわが精銳部隊が入城日章旗を翻してゐた

江南通山附近で 敵四千擊攘

【漢口十八日發國通】江南北山山脈北側の通山、楠林境南方地區に百九十七、三十四兩師の約四千五百が出擊して來つたのでわが門脇、田中、池田、渡邊各部隊は十二日拂曉より大規模の討伐戰を開始し三方面より進擊巧みに敵を包圍、十五日黎明を期して總攻擊を敢行徹底的打擊を與へてこれを南方山岳地帶に潰亂せしめた、右四日間における戰果は敵屍百八十八（內將校三）、鹵獲品＝チエコ機銃三、小銃二十九、また門脇部隊の一部は小北山北方約六キロ＝鐘臺山附近に蠢動中の百九十七師に屬する約千五百に對し十五日拂曉猛攻擊を浴せてこれを敗走せしめ敵據點鐘臺山を占領した、右戰鬪における敵遺棄死體四十九、鹵獲品多數

京漢線東側地區 廖磊軍を掃蕩

【漢口十八日發國通】七・七記念日を期して廖磊麾下の遊擊匪が京漢線東側地區に出擊を企圖しあるを偵知したわが松枝、酒井、榊原、瀧川各部隊は六日早朝より一齊に討伐を開始し、松枝、酒井部隊は信陽およびその南方楊林鎮附近より進擊六日より八日に至る間敵約一千を擊破の後、九日午前十時信陽東南方六十キロの敵據點彭新店を占領、十日更に東方潘新店一帶の兵匪を掃蕩、また榊原、瀧川部隊は七日早朝廣水東方王家店附近において數百の敵を擊碎さらに附近一帶の肅淸を完了十五日それぞれ基地に歸還した右討伐戰に於ける敵遺棄死體百十四

まち／＼の命令で 戰鬪意志起らず ソ聯投降兵が語る內情

暗黑ソ聯の內面は今次ノモンハン事件に於ける數次のソ聯投降兵の口から續々と暴露されてゐるが、七月十日早朝ハルハ河前面の陣地から白旗を掲げて我が軍に投降してきたソ聯某將校以下十三名の俘虜の口より更に深刻なる內面が明瞭となつた、すなはちソ聯第五狙擊軍は調査の結果ソ聯統治國所屬部隊の將兵で彼等は五月末ペルム州民兵交代要員として召集をうけ約二週間訓練のうち六月十二日ボルジヤに到着、新に編成された外蒙ソ軍部隊に配置されハルハ河畔の一線に到着したが、糧食も碌々給與されず日々空腹に堪へ兼ねてゐる矢先ふと入手した宣傳文を讀み滿洲國の王道樂土を初めて知り矢も楯もたまらず部下十三名を語らひて我が軍に投降して來たものである、投降者は某將校以下アレキン・エス・エヌ、チユーノフ・ヴユーバクジエフテ・エス、ニユラソエヌ・イ、ピザエフ・アエフ、ザウヤロフ・ヴエイ、アザノフ・パノフ・ベ１・ウエー、チウノフ・ヤ１・アー、メトロフアノスエヌ・エム、フエドートレオンウイツチ・ニコフチユダノフ・ダデマ・ドミトリウイツチで彼等の言ふことを綜合するに政治部員は戰鬪指揮に干渉して妨害するので部門は命令が二途も三途にも別れてマチマチに徹底してゐない、從つて兵には少しも戰鬪意志がない、その上給與が非常に粗惡なるのみならず不充分なるため軍規が弛緩して命令が行はれない、投降兵の中には三日乃至五日間何にも食はずに行軍した者もある狀態であるソ農民はスターリンを極度に嫌惡してゐるので現代の政權は永續すまいといふ風に見てゐるやうである

佛租界工部局の 檢束問題解決 わが軍當局斡旋す

【漢口十八日發國通】興亞記念日における漢口佛租界工部局の華中青年協會宣傳隊員檢束、五色旗沒收事件については張武漢特別市長より佛租界當局に對し陳謝並びに沒收五色旗の返還方を要求交涉中のところ、十八日わが軍特務部が調停に起つことゝなり同日午前特務部村上少佐はレノオ佛總領事代理を訪問折衝の結果

一、武裝安南兵をして宣傳隊員を檢束せしめた點は陳謝する

一、五色旗沒收については右事實なしといふ租界側の主張を認めて不問に附す

一、今後中國人の純眞なる民衆運動に對しては租界當局は善意をもつて協力する

ことに意見一致し圓滿解決をみた

高司令射殺さる

【南京十八日發國通】新四軍第[不明]挺隊司令高俊亭は六月廿七日合肥縣青龍廠において新四軍長葉挺のために逮擊軍を私有部隊化せんとしたとの理由で射殺されたが、事實は高が新四軍の亡國戰術に懷疑をもち秘かに和平救國運動に乘り出さんとせるを探知されたゝめといはれてゐる

伊西會談終る チ外相歸國

【マラガ十八日發國通】スペイン公式訪問中のチアノ外相はフランコ將軍と歷史的會見を終へイタリー、スペイン提携促進の使命を十二分に達し十七日マラガを出發歸國の途についた、出發に當り同外相はイタリー、スペイン提携を謳歌して左の如く語る

イタリー、スペイン提携は歐洲において既に現實となつてゐる、從つて二國を背離せんとする如何なる希望も徒勞に歸するであらう、フランコ將軍は近き將來イタリーを訪問するが、フランコ將軍はムツソリーニ首相ならびにイタリー國民よりの勇氣と忠誠によりスペインを革正し同國に新秩序を齎した英傑として崇敬の念を以て迎へられるであらう

人事往來

着京

▲龜井信次郎氏（商業）十八日東京ヤマトホテル
▲末森之郎氏（同）同
▲石野森作氏（官吏）同
▲渡邊良夫氏（商業）大都ホテル
▲藤田義文氏（同）同
▲關正雄氏（官吏）同
▲村上上氏（土建業）同
▲岩田保次郎氏（日滿商事大連支店長）同
▲齋藤固氏（東滿產業取締役）同
▲阪倉正夫氏（華北交通會社）同
▲磯谷屯氏（同警務部長）同
▲永山俊昌氏（會社員）同
▲谷口三郎氏（採石業）國都ホテル
▲松井清氏（イリス商會）同
▲平郡宏氏（延和金鑛）同
▲深川猶鷹氏（會社員）同
▲高松嘉治郎氏（錢高組）同
▲加藤守氏（航空會社）同
▲島田千代治氏（哈爾濱取引所理事）同
▲山田覺氏（農業）同
▲今井利三郎氏（滿鐵社員）同
▲松本京作氏（三井物產）三國ホテル
▲山田耕平氏（大連畜產常務取締役）同
▲町田滕作氏（會社員）同
▲稻垣確太郎氏（同）同
▲岡崎直喜氏（同）同
▲畠山德三氏（同）都ホテル
▲中村茂氏（同）同
▲大澤陸郎氏（同）同
▲根岸保吉氏（官吏）滿鐵ホテル

出發

▲黑川正太郎氏　十八日內地へ
▲中西健氏　奉天へ
▲池田周作氏　大連へ
▲尾本富一氏　延吉へ
▲木原二永氏　大連へ
▲佐倉種茂氏　三道溝へ
▲西谷實一氏　奉天へ
▲金子順治氏　大連へ
▲間部彰氏　奉天へ
▲竹山吉治氏　大連へ
▲小田貞二郎氏　奉天へ
▲窪士清氏　鞍山へ
▲井坂彥治氏　同
▲小路重作氏　京城へ
▲木並松友氏　奉天へ
▲折川正浩氏　大連へ
▲名和成高氏　哈市へ
▲鶴見普治氏　吉林へ
▲酒井好一氏　哈市へ
▲大垣義一氏　奉天へ
▲濱田政夫氏　天津へ
▲下戶朝一氏　哈市へ
▲西原一二氏　同
▲伊藤熊次郎氏　同
▲都富佃氏　奉天へ
▲山口司一氏　哈市へ
▲中村直三郎氏　同
▲廣瀨幸一氏　同
▲原繁造氏　東京へ
▲山內定切氏　奉天へ
▲山崎吉郎氏　撫順へ
▲今城說次氏　奉天へ
▲西島俊雄氏　同
▲原孝次氏　哈市へ
▲中本益洋氏　同
▲臼井德三氏　同
▲奧田秀次郎氏　平壤へ
▲中谷芳郎氏　同

その日／＼

□ 國民は東京會談の進行に深い關心を集中してゐる、良き成果あるを期待してゐる

□ その老猾に乘ぜられてはならぬ、その常套手段に引つかけられてはならぬ

□ 問題は局地のものの如く見えながら、その本質は決してさうでない

□ 東洋と西洋との關係に、新しい歷史を作り出さうとするのだ

□ 曾つての日の寬城子事件、舊都人の幾許かこれを知るか、慰靈祭にそれを思ふ

星霜茲に二十一年　寛城子の華祀る
兒玉公園誠忠碑前で慰靈祭　草分けが語る憶ひ出

回顧二十一年前、東支鐵道斗備のため寛城子に集結した吉林督軍孟恩遠の部下吉林第四混成旅歩兵團長曹子剛の率ゆる一隊の不法挑戰に應戰遂に大陸の先驅として散華した駐屯軍副官住田大尉以下十八勇士の英靈を慰める「寛城子事件慰靈祭」は記念日の十九日午前八時よりこれ等英靈を祀る憶ひ出も新な兒玉公園誠忠碑に於て當時の駐屯軍中隊長現大同學院教授横山鑑氏及び同小隊長、關東軍川原高級副官司會の下に稻川驛長以下滿鐵從業員三百三十餘名を始め長春草分けが集り長春會、海友會、國防婦人會員等約三百餘名參列擧行された、碑前には本社、長春會始め在京各團體から贈られた供物及び花環に埋り定刻開式、型の如く修祓、降神、獻饌の行事あつて植村神官祝詞を奏上、次いで參列者の玉串奉奠の後撤饌、昇神の行事あつて司會者横山鑑氏より一場の挨拶あり同八時半嚴肅裡に閉式したが、式後草分けの人々は碑前に横山氏を圍んで當時の追憶談に花を咲かせた

横山鑑氏談

寛城子事件慰靈祭司會者、當時中隊長として奮戰した横山鑑氏は式後往時をしのび感慨に深い面持で左の如く語つた

二十一年前を回顧する時實に感慨無量だが、全く當時を現在と比較する時隔世の感があり一層感慨深いものがある、事件の發端は船津某が船橋某とあるは誤りだ船津某が通行中不良兵士のため頭を叩かれ守備隊に駈け込んで來た、部隊は直ちに犯人引渡しのため現地に向ひ僕と副官の住田中尉が敵の大隊長の下に行き面談交渉を開始せんとするや不意に背後から發砲され戰闘となつたが僕は挾打ちとなり一先づ散兵線まで引返さうと腹這ひで後退しつゝあつた時僕は敵彈のため負傷鮮血にまみれつゝ漸く散兵線に辿りついた、その時指揮中の推原大尉は腹部をやられそのうめき聲を聞いた僕の傷ついた時は、住田中尉はまだ健在であつたが、その直後に戰死した、小隊長として奮戰した現關東軍高級副官川原君（へ）も腕に負傷した筈だ、いづれにしても當時の我が國は國力が弱く事件の謝罪程度に終つたと思ふ、この事件の戰闘状況についてはまちまちに傳へられてゐるので近く正確なものを發表しやうと思つてゐる

原料入手難から　胚芽米姿を消す
奉天の保健運動頓挫

國民榮養保健運動への前進として滿鐵が盛んに提唱してゐる榮養百%の胚芽米食運動は最近原料米入手難から挫折の已むなきに至つたがこの程更に絶對的需要者たる奉天滿洲醫科大學醫院も常食胚芽米のシャットアウトを喰つて入院患者約六百名、その他看護人附添、病院一般食堂等一日約一千人に必要な榮養給食も閉され重大な社會問題としてこれが配給の圓滑化が熾烈に要望されるに至つた、大體奉天一ヶ月の需要は約二十車見當（一車六百五十叺）でその需要内容は滿鐵社員層の消費組合五車、滿鐵生計所七車、醫大病院一車、造兵所一車、市民需要が四車、その他學校寄宿舍等の團體向けとなつてゐるが折角盛上がつてきた國民榮養運動を完了せしめるためにも當局の善處が切望されてゐる

何かと聞くと左の如く語つた

滿鐵管下各醫院一年の使用胚芽米は年度始めにそれぞれ豫定量を算定し本社に於て一括安東、その他集散地米穀商より購入してゐるもので或は奉天では醫院獨自で購入してゐたところから最近の諸事などにより購入不能に陷つたものと思はれますが、當醫院に於ては現在のところ胚芽米が無くなり保健問題を惹起するやうなことはありません

新京は必配なし

右について新京滿鐵醫院は如

滿人商店員に　實業事務講習
商工公會で續開

新京商工公會では滿人小店員に對する商店學、一般接客業務の向上を圖るため第一回滿人商店商業實務講習會を五月十五日より七月十五日まで開講したが、滿人商店街、顧客双方よりの希望もあるので引續き更に高度の商業簿記その他店員に必要なる學科目、日語等につき講習會を開催することに決定、來る八月十五日より三ヶ月間實施することゝなつた

家出二件

北海道石狩郡新篠村自動車運轉手佐野甫氏は六月下旬郷里を無斷出奔滿洲で一旗擧げるべく新京に來た形跡ありと親元より十九日中央通署保安係に捜査方願ひ出た、また鳥取縣若櫻線前垣田製材工場主子息壽美君（二一）は本月初旬無斷家出新京方面に向つた模樣なので兩親より徴兵檢査前の大切な身體であるからと十九日中央通署保安係に捜査方願ひ出た

中銀勝訴となる
問題の對王致和事件

敗訴か、勝訴か滿洲國最初の再審事件として注目されてゐた中央銀行對王致和の貸金請求民事判決言ひ渡しは十八日午前九時半最高法院渉外廷に於いて井野審判長係清水、萬才、辻、加藤審判官、陪席の下に開廷、井野審判長は左の判示要旨を以つて原告王致和に敗訴を言ひ渡した

最高法院が勝合庭の審判に依らずして最高法院判決例に牴觸せられたる判例に反する裁判を爲したるときは民事訴訟法第四百三十條第一號に所謂法律に從ひ判決法を構成せざりしときに當り再審を求め得可き理由となるものとす、民法第七百五十五條の債權者が保證人の同意を得ずして主債務者に對し辨濟の延期を許したるときは保證人は右延期のため主債務者が其の辨濟資力を失ひたる限度に於て保證の責を免ると言ふ意味に解すべきものとす

公判内容

公判の内容は奉天市小西邊門裡居住袁祥生（四二）が民國三十年、友人王致和（五一）を保證人として中央銀行の前身邊業銀行から一萬圓を借用辨濟期康徳二年三月に六ケ年間の辨濟延期を嘆願したので銀行では保證人王致和の同意を得ずに辨濟期を延期中のところ、康徳三年保證人王和致は中央銀行に預金してある一萬圓の拂ひ戻しを請求したが中銀では資の保證金と相殺處分にして拂ひ戻しに應ぜぬところから王は中銀を對手どり奉天地方法院に提訴、一審二審ともに舊民法による〃保證人の同意を得ずして辨濟期を延期した場合保證人は辨濟の責に任ぜず〃の條文により原告側の勝となり、最高法院に於ける上告審も中銀側が敗訴となつたが、中銀では康徳四年一月三十日第一庭の公判王西村、王自余の貸金請求事件が同樣の内容で保證人側の敗訴となつてゐる判例に基き再審の理由として再審を申立てたもので、一般金錢取引上保證人の同意を求めずして辨濟期を延期することは多く影響するところが多いので注目されてゐたが最高法院では再審の理由ありとして受理し、再審の結果、中銀側の勝訴となつたものである

井野最高法院次長談

右公判言ひ渡し後井野最高法院次長は次の如く語つた

□　□

最高法院が滿洲國の司法の中心である、最高法院の職分は滿洲の總ての法院が法律に從ひ

適正

に裁判を爲して居るか否かを監視する役所である素より最高法院は裁判を爲す役所であるから、民衆又は檢察廳から申立が無ければ自ら進むで如上の監視を爲すものでないが、民衆又は檢察廳から下級審の裁判の手續に違法の廉があるとか、裁判上適用したる法律の解釋に誤があるとかの申し立があれば、直に元の裁判を調べて法律適用の正否を判定し、或は手續に間違のある裁判を是正せしめ、或は自ら正しき法律適用を爲し、事件を正しき法律の運用と云ふ軌道に載せる役目を持つて居る最高法院は此の役目の遂行に當つて滿洲國の法律解釋上將來の軌範とすべきものあらば、「最高法院判決例」と云ふ毎月最高法院より刊行せらるる出版物に登載して之を世に公にして居る、此の刊行物に載せる迄には最高法院の主腦部を以て組織する判例審査會の法議に付して之を可決したものを公にすることにして居る故に苟も此の一判決例に載せられたものは滿洲國官民に採りては一の法律解釋に關する「オーソリチー」であつて檢察に當る官吏は之を標準として事務を執り、民衆は之に從つて取引を爲し或は訴訟手續を進行して差支へないものである尤も之とても決して

絶對

に之を改め得べからざるものではない。但之を改めるには法院組織法で民事に關するものは民事の總ての庭、刑事に關するものは刑事の總ての庭、刑民雙方に關聯あるものは民刑總庭、の聯合庭の判決を以て裁判すべきことを定めて居る。然るに今日最高法院渉外庭で云渡を爲したる事件に付いては、其の法律問題に付き最高法院の民事第一庭で爲し判決例に登載せられたる判例あるに不拘、民事第二庭が之と異る見解の下に判例に反したる判決を爲したもので、第二庭の判決で負けた中央銀行が「此の裁判は判例に違背した裁判であるから法院組織法に依り民事聯合庭のみ之を爲し得べく、第二庭のみで之を爲したのは法律に從ひ適法に構成せられたる法院で爲したことに當らない故に民事訴訟法第四百三十條第一號に依り再審を求め得べき場合に當る」と云ふので再審の申立を爲したものである。之が再審の理由になる否かは日本でも議論があるのであるが、最高法院では之を再審の理由と爲し得べきものと認めたものである（日本ではまだ判例は無い）此の事件は如上の裁判手續に於て非常に興味ある判例を造るに到つたものであるが、其の裁判手續のみならず事件の内容に關しても仲々面白い且取引上

重要

な問題を解決して居る。それは治外法權撤廢以前に滿洲國に援用せられて居た民法の第七百五十五條の解釋に關して判斷を下した點にある。此の條文の内容は例へば乙が甲から借金をして丙が保證人に立つた場合に、期限になつても乙が甲に金を返へせず困つて居る時に、甲が乙の辨濟期を延期して遣つた際、此の延期に付て保證人丙の同意を經なければ、保證人は右甲の獨斷に依る延期の許容に因り保證の責任を免れる、と云ふが如き文句になつて居る。此の條文を文字通り解釋すると今日の事件は此の點のみで既に中央銀行の負けになるのであるが最高法院は此の解釋の波及する惡種の弊害を考慮し、中正なる理論と信ずるところを採り之を文言に拘泥して解釋せず保證人は普通の場合に一旦保證した以上は、何所迄も債務者の不履行に付き履行の責を負ふべきで、只先に述べた樣な、延期の許容があつた場合には延期中に債務者の財産狀態が延期前より惡くなつた時即ち之延期前に債權者が債務者に請求して貰れば一萬圓辨濟させ得たのに、延期の期限後に請求せざるを得なくなつた爲め、債務者がより貧乏になり五千圓しか取れぬことになつた時には、保證人は此の爲めに生じた五千圓の不足を之を保證辨濟する責は無いが、債務者の財産狀態に延期の前後に依て差異がなければ保證人は依然として舊來通りの

責任

があるものとしたものである。此判例は先に民事第一庭の判例と結果を同じくしたるので判例々變更せぬことになるので、今度の裁判では渉外庭のみで裁判し聯合庭を開かなかつたのである。既に改正せられた新民法には右樣の條文はないから新しき取引には此の判例は直接の影響は無いが、現在舊民法に基く取引が非常に多く殘つて居るので今回の判列は取引社會には大變重要な結果を及ぼせるものである

串田三菱取締役

【東京國通】三菱取締相談役串田萬藏氏は病氣靜養のため今回辭意を表明した、氏は右のほか三菱關係各社重役および一切の公職を漸次辭任し療養に專念する筈

盗んだ金で孝行

十九日午前二時頃富士町三丁目一三路上を徘行中の中央通署馬、孫兩刑事は擧動不審の一滿人を取押へ本署に連行取調べたところ、此者は開原縣本城住所不定無職張海亭（三〇）で六月初旬市内軍用路青雲街五八號靜間三郎氏宅に家人不在を奇貨に侵入洋服衣類等價格三百圓を、寛城子二道街唐振廷房に侵入衣類數點價格六十圓を何れも窃取城内各所當舗に入質したほか十五件約四百五十圓の窃盗を働き開原の親元に送金し孝行ぶりを發揮してゐたこと自白、餘罪ある見込で取調べてゐる

全量一萬貫以上の　お相撲列車來る
國都に漲る土俵氣分

東京大相撲一行四百餘名は滿洲場所奉天興行を終へ十九日午前八時廿分着特別仕立の全重量一萬貫を超えるといふお相撲列車で大擧來京、第三プラットホームは國都愛角家と各力士後援會等で埋めつくされ双葉、男女をはじめ幕内力士が列車内からノロノロと巨體を搖ぶつて現はれる毎にヤンヤの喝采慈姑頭の弟子達も親方の化粧廻しを擔いで現はれ驛頭は時ならぬ混雜を呈し國都全市は早くも相撲氣分一色に塗り潰された、双葉山男女ノ川以下幕内力士は直ちに新京角道會和久田幹事先導に卅數臺の自動車に分乘新京神社に參拜、出羽の海、春日野親方はじめ双葉、男女、前田の順で玉串奉奠あり、終つて自動車を連ねて忠靈塔に向ひ護國の英靈に對し默禱を捧げた、忠靈塔參拜後關東軍、海軍武官府、國務院、治安部首都警察廳を訪問正午市公署を訪れ、丁度晝食時なので市公署の會議室で巨人連賑やかにくつろいで腹ごしらへをなし、午後は再び自動車を連ねて各方面に挨拶をなした

一行挨拶來社

●東京相撲、双葉山、男女の川、境岩、春日野取締役等は和久田氏の案内で十九日挨拶に來社

初日取組

增位山（八幡錦（矢筈山
布引（源氏山（清美川
小戸岩（白鷺（一ノ渡
佐渡島（九ヶ錦（二瀬川
陸奥里（櫻錦（錦華山
陸奥錦（錦浮谷（小松山
桂川（加古川（若嶺
十三錦（松浦潟（潮

中入

若浪（高登（播瀬川
巴潟（佐賀花（金湊
神東山（藤ノ里（富士嶽
大浪（旭川（倭岩
鶴ヶ嶺（青葉山（駒ノ里
大邱山（綾若（綾ノ里
楯甲（鹿島洋（玉ノ海
肥州山（磐石（松ノ里
五ツ島（羽黒山（龍王山
名寄岩（兩國（鏡岩
前田山（安藝海（双葉山
綾昇（男女川（出羽湊

奉天場所千秋樂

奉天場所千秋樂は十八日午前九時より華々しく開場、炎熱にもめげずファンは續々つめかけ立錐の徐地なき盛況、盞明け以來累計七萬の入場者を算し好取組に大天幕も搖ぐ許りであつた、大連場所全勝の羽黒山は好敵玉ノ海を寄切り二連勝、十一日勝放しとなり双葉亦好調を回復好角家をうならせた、勝負終了後前頭優勝者神東山に鄕率天市長盃、並びに幕内優勝者双葉山に金省長ならびに佐藤滿鐵副總裁盃「力入れ」の授與があつた、中入後勝負左の如し

（勝）　　（負）
藤ノ里（吊出し）播瀬川
松ノ里（叩込み）巴潟
小松山（寄切り）倭岩
神東山（寄切り）高登
大邱山（寄切り）金湊
若國（寄切り）佐賀ノ花
兩國（寄切り）鶴ヶ嶺
大浪（寄切り）綾昇
安藝ノ海（寄切り）綾ノ里
駒ノ里（寄切り）青葉山
五ツ島（下手投）富士ヶ嶽
楯甲（押出し）龍王山
旭川（上手投）鹿島洋
出羽湊（寄切り）磐石
肥州山（寄倒し）名寄岩
羽黒山（寄切り）玉ノ海
前田山（踏越し）鏡岩
双葉山（突倒し）男女ノ川
打出し六時五十分

劉國藩氏一萬圓寄附
將兵慰問金

東亞新秩序建設の秋を迎へて澎湃として湧き起る銃後國民の熱誠は日滿軍將兵に對する感謝の慰問獻金となつて現れさきに裕昌源主王荊山氏が五萬圓を又益發合主孫秩三氏が十萬圓を獻納したが又復合名會社日新昌主劉國藩氏が于首都警察總監と同道、國務院に張總理を訪問し同社々員の總意により日滿軍將兵の慰問金として金一萬圓を贈呈した

苦力募集金詐取

日本橋通八一五十嵐組竹內直吉氏は十九日午前中央通署に富士町三丁目八漢城旅館止宿土木建築通稱中野銀次郎事朴金龍（三五）を詐欺罪で訴へ出た、朴は去る十四日佳木斯より來京前記場所に止宿建築仲間の竹內氏に奉天で苦力を募集して來てやると現金千圓を手渡されたのを奇貨に妻の鄭順伊（二八）と甥林素錫（一六）を連れ姿を晦したものである

半島人青年縊死

十九日午後零時半ごろ兒玉公園裏門下柳の木の傍に三十才位の半島人青年が皮帶を以つて縊死し居るを散策中の邦人が發見、この旨兒玉公園前派出所に急報目下係官檢證中であるが死因は不明である

吉林も反英大會

「アジアの敵英國を葬れ」と吉林全市民の反英熱は沸々とたぎり七月二十五日の協和會創立記念日を期して協和會を中心に反英大會の計畫が進められてゐるが、これと同時に單なる一時的の反英大會にあきたらず英製品ボイコット運動が眞劍に計畫されてゐる

遣獨陸上代表

【ローマ十八日發國通】遣獨陸上代表大島監督以下一行十二名は十七日夜ローマ着、十八日正午わが大使館の午餐會に出席したのち午後初の練習を行ひ同夜七時十分ローマ驛發列車でベルリンへ向つた、なほイタリーとの對抗競技は九月初旬ドイツからの歸途ミラノで行はれる

物資愛護委員會

富家强國運動の一翼をなす物資愛護の原案作成委員會は十九日午前十時より協和會中央本部第一會議室で開かれた

山野一郎●挨拶來社　十九日から長春座に出演する漫談の山野一郎、舞踊の柳澤まる子の兩氏は同日來京挨拶に本社へ來訪した

あす（二十日）

▲大日本大相撲新京場所初日　於大同公園土俵

今晩の主なる放送

▲七・三〇國民歌謠「防空青年の歌」（東京）永田絃次郎　▲七・四〇講演（東京）　▲八・〇〇合唱日記第四ページ「海に鍛へる」（東京）永田哲夫外　▲八・二〇ラヂオ小說「氷原を征く」（東京）御橋公　▲九・〇五歌謠講（東京）村[illegible]洋子外

日本國防劇團 開演愈よ迫る
女劍戟も交えた大衆プロ

稻葉喜久雄を盟主とする日本國防劇團は目下南方滿鐵沿線各地を巡演、絶讃を博してゐるが新京へは二十一日朝乘込み、同日夜、二十二日晝夜、二十三日晝夜、二十四日夜と六回得意の軍事劇を上演する外、彩りに喜劇を加へ、更らに洋見嘉江子を主とする女劍戟を觀せるといふ大衆向きのプログラムである、上演する劇一二の略筋は左の通り【寫眞は劍戟の洋見嘉江子】

國防思想普及劇
「銃後の叫び」全五幕

金子一家は世間に漏れぬ貧困の一家であつた。併し此の農家には不似合な良妻の久子、身は富豪の家庭に生れ乍ら眞の人間愛と男の眞心を慕つて金子敬吉の妻となつて居た。或る日久子の生家伊藤家より出入の請負師河田が久子を實家に連れ戻して名家に嫁がせ樣と口說くが久子は貧乏はして居ても實生活に生きて正しい道に生きたいと河田を拒ける。そこへ日支事變の突發、敬吉にも召集令狀が下る、敬吉は國家の一員として一死國の爲に來たれりと胸は躍るが、貧しい一家を思へば喜びの蔭に亦暗い悲ひに沈むのだつた。久子は母と共に健氣にも後事は女乍らも名譽を汚さぬ樣に立派に生活して見せる心意氣ず雄々しく働いてくれると勇める敬吉は母と妻の激勵を唯一の力として出征して行く。併し男手を失つた金子一家は農半ばかへ加へて久子は姙婦となり僅かに老母一人で田畑は耕されてゐたが久子が病床に伏してからは、それすらも手に付かずに居た處へ國防婦人會及び在鄕軍人會では悲慘なる金子一家を會員擧つて農作に手傳ひ慰問するのであつた。一方戰線では敬吉は勇ましく活躍して居たが太原方面の包圍に於て敵の重圍を切りぬけて本隊に傳令として彈丸を身に浴び乍ら任務をまつとうして遂に名譽の戰死をし皇軍の華と散る、雄々しい敬吉の英靈は鄕土の土をふんだ、母は遺骨の前で名譽の戰死を喜び孫が産れた事を告ぐる、そうして第二の敬吉として育て國家の爲御奉公させると誓ふ、出迎への人々は母の赤誠に感泣の涙をはらふ。折りしも大日章旗は神風を受けて翩々とひるがへつて居る

時代劇「女國定」全二場

國定忠治の女房お德は横澤甲子太郎の訴人にて遂に召捕られて江戸小傳馬町の本牢に護送の途中上州街道松並木に大勢の百姓が忠治の德を慕ふて今生の別にと思ひ〳〵の差入れ物を持つて來て別れを惜んだ。其の時甲子太郎はお德美代太郎の二人に惡口雜言罵つて立ち去つた。其の時並川の才助が來り隣人を救ひ出して甲子太郎の家に斬り込み甲子太郎の首をさげて自ら名乘つて江戸本牢に名乘り出て法の捌きを受けて夫忠治と共に小塚ヶ原の露と消えゆく

「千兩判官」配役

松竹京都、横濱正明演出の「千兩判官」は江戸裏町長屋の一角に千兩の富籤をめぐつて、葛藤する愛慾と一徹な武士氣質を描き名判官遠山金四郎がからんで織りなす人情圖繪一作適中主義の松竹京都の夏の異色篇、左のキャストで撮影續行中

青木平馬(海江田譲二)母お梶(柳さく子)妹お光(河本美智子)お糸(伏見信子)父喜兵衛(坪井哲)母お仙(林由起子)丁稚竹松(嵐寛童)遠山金四郎(本鄕秀雄)長唄師匠(花岡菊子)その他オールスター

滿映撮影現況

＝劇映畫＝
▽水ヶ江組「嫉鬼」吉林ロケ中
▽大谷組「東遊記」撮影中
▽高原組「眞假姉妹」編輯中
＝文化映畫＝
▽森組「第二次黎明の寶庫東邊道」整理中
▽新田組「聯合協議會」撮影中
▽高橋組「樂土新蒙古」撮影中
▽高橋組「ほろんばいる」整理中
▽津川組「滿洲建設勤勞奉仕隊」撮影中
▽石野組「映畫大觀(林業篇)」撮影中
▽高原組「映畫大觀(鐵道篇)」撮影中
▽山之内組「郵政保險」「郵政儲金」撮影準備中

仙人掌

ね、おにいさん、あたし、そんなにブツキラボウかしら、おまへはもちつと色ツぽくならなくちや駄目だつて云はれるのよ、ねえ、色ツぽくなんかならなくツてもいゝでせう。あらツ、いやア、おにいさんまでさうおつしやるの、ぢやアあたし、これから色ツぽくなるお稽古しやう、ねえ、一人ぢやア氣分が出ないワ、稽古臺がなくちや駄目よ、おにいさん稽古臺になつてよ、—まア憎くらし、暑ツ苦るしい彷に寄るなツ、フツフ緊張つたつて恐かないわよ、ちよつとトンボねへちやん、あんた稽古臺になつてよゥ、と、その膝にもたれて袂を胸に斜に顔を見上げた媚態眼つき、どうして〳〵、なか〳〵色ッぽい曙の京丸。電に何、ちやめでおもしろい鼓に、電光雷鳴、盆を覆すやうな豪雨でもあると彼女すつかりよろこんでしまつて、あたし雨に濡れて歩きたいのよ、頭からびしよぬれになつてはだしでピチャ〳〵歩いてみたい、あゝ幼い時がなつかしいと、雨の音をきゝながら夢みるような顔をしたりしてる、好きならやつてみな、遠慮はいらねえ、濡れたつて着物は君のもの、洗張賃に仕立直し代それから髪を結び直すだけの損害だらうたいしたこたアないさ、と、嗾しかけたが、だつてエ、そんなことしたら氣ちがいと間違へられますわよ、と、それはやつて見せてくれなかつた(寫眞は京丸)

雜音

「どん底」「永遠の緣」二本で蓋を揚げた帝都キネマ初日から仲々好調な客足である、「ムシ干しといつても馬鹿にされぬ、ない袖を振つて快心の成績を見せてゐる▼「鞍馬天狗江戸日記」の新京キネマも初日から好調な客足を持續、日曜日以降週末にかけての强調ぶりが目立ち週一杯豫想以上に稼いでゐる模樣である▼銀キネ、朝日座二館はけふから寫眞替り銀キネは「日本の母大會」「神變唐獅子」の大都全プロ、次いで廿六日から右太衛門主演の新興プロ「大岡越前守」「血の歡喜」お預りとなつてゐる「俠艶錄」は八日二日からと決定した、延期されたのはフヰルムの損傷によるもので機械にかゝらぬ程使はれてゐるところから見ても、これは又大いに客足を集めることにならう▼朝日座は日活の「路傍の石」の再登場である、「爆音」に次ぐ佳作の連打は珍らしく「三代目襲分」の添物はとも角、「名畫」が安心して觀れるといふことは嬉しいことに違ひない

九星

木曜 舊七 戊午 六月二 先負 四十 閉 角宿 一日
東京・本鄕・神…

●一白の人 急速なる發展を望むときは却て蹉跌すべし 東と坤と艮が吉
●二黑の人 隆運の日にして何事にも吉し但し口舌注意 巽と坤と丙が吉
●三碧の人 奇利は無くとも常に働けば相當の伸びあり 乾と丙と壬が吉
●四綠の人 人の力を借らず熱心に己が分限を以て勵め 乾と艮と壬が吉
●五黄の人 乏しきも一時のことと勵けば大に裕なるべし 東と西と丙が吉
●六白の人 飲食と進退とを慎み中を守り偏らざるが吉 艮と乙と酉が吉
●七赤の人 抗すれば抗するほど逆運に見舞はるべき日 巽と坤と乾が吉
●八白の人 實力を以て爲ることは難事と見えても成る 丙と丁と酉が吉
●九紫の人 目前の小利に焦らず永遠の志を立るに吉し 西と艮と丙か吉

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一ケ月壹圓五拾錢 一部五錢 廣告料金 發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 發行人 編輯人 印刷人

日英會談更に續開

次回は廿一日開催 一般問題重ねて討議

【東京國通】有田クレーギー第二次會談は十九日午後四時五十分再開され、午後六時十分終了した

【東京國通】十九日の有田、クレーギー會談午後の經過につき外務省情報部では午後七時十分左の如く發表した

有田外務大臣およびクレーギー大使は本日午後四時五十分より外相官邸において天津問題の背景をなす一般問題の討議を繼續したが更に考慮を重ねるために次回會談は廿一日(金曜日)開催することゝし六時十分散會した【寫眞は有田外相(上)とクレーギー英大使】

英頑強に主張固執 遂に一致點に到らず

【東京國通】十九日の有田・クレーギー第二次會談は午前午後の二回に亘つて開催され天津問題の背景をなす一般問題につき討議を重ね廿一日第三次會談を行ふことを申合せ六時十分終了した、而して本日の會談に於て、クレーギー大使は全體としては協調的態度を示しながらも第一次會談において有田外相が明かにせるわが方主張の檢討をなし

一、天津における事實上の戰爭狀態の認識

一、天津における軍の生存上必須なる政治、經濟、各般における英國側の協力的態度

の二點に關して英獨自の主張を反復繰返してわが主張に俄かに讓らざる態度を示した、これに對し有田外相は重ねてわが方の主張を述べ、帝國の要求は現地に實在せる事實の基礎に立つものであることを力說し條理を盡して英國側の認識再是正を促したが、結局同日の會談において一致點を闕見するに至らなかつたものと解される、尙クレーギー大使は第二次會談におけるわが強硬なる態度に鑑み再度本國政府に請訓した上で第三次會談に臨むことになるものとみられる

今後の折衝 既往の會談基礎に

【東京國通】有田、クレーギー會談はフリートーキングの形で進められたが、會談內容が漸次本格的折衝に入るに至つたので、十九日午後の會談において既往の會談中に現はれた雙方の主張見解をもとゝして意見を取交し、今後これを基礎にして討議の進捗を圖ることゝなつた

晉北自治政府 外相宛激電

【大同十九日發國通】大同における中國側民衆の反英熱は第二次東京會談開幕と共に愈々最高潮に達し、英國が東亞の新事態を承認するに非ざれば事變の圓滿解決を期する能はずとして晉北自治政府では十九日午前十一時最高委員會の名を以て日本政府有田外相宛左の通電を發し激勵した

天津租界封鎖に遭ふや英國は之を外交々涉に移し當面の粉飾を以て事を葬り去らんとし、なほ中國蠶食の齒牙を猛ふし、東亞新秩序の建設を阻害せんとするものゝ如し吾人は日本政府の決意固きを知るも老獪英國の術策を憂ふ、希くば既定方針を堅持し一擧に東亞百年の禍根たる英帝國の齒牙を拔らしめんことを

なほ日本居留民、婦軍大同分會でも十九日正午首、陸、海外各相ならびに現地代表に對し激勵通電を發した

英人退去を迫る 濟南、太原に反英大會

【濟南十九日發國通】濟南における反英運動は東京會談の成否に拘らず日を逐つて熾烈となり、十七日は遂に支那民衆の英人商社襲擊の直接行動にまで及んで、これを指導する反英實行委員會ではさらに英人驅逐、英貨ボイコットにまで進展ずべく十九日同委員會の名を以て「新秩序を阻害する援蔣分子は速やかに退去せよ」との傳單を配附、十八軒三十名の在留英人に退去を迫つたので在留英人は何れも驚愕早くも荷物をまとめビユーローに切符を求める等の狼狽ぶりを示し、英人雇傭の支那人もこの形勢に驚いて一人殘らず逃げ出してゐる

□ □

【太原十九日發國通】東亞新秩序建設を妨害する老獪英國を斷乎膺懲すべしとの聲は今や日滿支蒙民衆の强烈なる叫びとなり英人權益乃至英人に對する直接手段も敢行されるほどの物凄い迫力が各地に展開するに至り太原でもさきに民衆の反英集合並びに示威が行はれたが、更に東京日英會談の開催を好機として十八日午後七時より太原神社外苑運動場に商務會同業公會等約五十餘の各種團體主催の下に太原市民衆各界反英運動大會を擧行した、參加の民衆は何れも反英の氣魄を面に輝し午後六時頃から續々新民公園に集合、午後六時四十分約二萬の大衆は列をなして公園を出發、皇華館街、紅市街へと大デモを敢行軍狹巷に入るや傲然と構へる英國教會前に於て一齊に反英スローガンを高唱して威力を見せ續いて孫家園街より神社外苑に入つた、七時會長王啓秦氏の開會の辭に次ぎ各代表十餘名が立つて「對英經濟絕交」「打倒英國」等の反英趣旨を述べれば民衆は拍手を以つてこれに應へ更に十餘のスローガンを絕叫し、氣勢を揚げ午後十一時盛大裡に散會した

英商品ボイコット 斷乎實行に決定 天津に糺察隊を組織

【天津十九日發國通】「英國品を賣るな、買ふな」とのスローガンを掲げ斷乎英品ボイコット運動に乘り出した全天津反英運動最高委員會ではこの實踐工作として糺察隊を組織するに決定近く次の如き要領の下に實施することになつた

一、英國品不賣買宣傳隊の組織(イ)教育分會、地區分會其他關係各機關より幹事を街頭に派遣する(ロ)日本側居留民團或は特務機關がこれを組織し行人に說明する(ハ)全國各都市に働きかけ宣傳隊を組織せしめる

二、英品不賣買糺察隊組織 警察局、新民會、居留民、民團各機關の職員を以て組織し、大商店倉庫を調査しストックあるものに對しては自發的に販賣を中止する樣要請する、これにより損失を受ける者に對しては當局は適當の救濟方法を考慮すること、反抗する者は各機關協力して該貨物を沒收或は相當の懲罰を行ふ

三、英國品不買同盟組織、先づ各機關公務員を始め各界を網羅し衣服日用品に英國品使用の物がある場合はこれを破棄すること、不服の者は最高委員會に送り懲罰すること

四、英國人に對する不賣同盟組織、イ、各大商店、各大小倉庫により組織す ロ、各業を單位に英國人に不賣買大同盟を組織し不賣運動の連絡をなさしむ

五、英國品賣買統制會組織、イ、やむを得ざる事情で英國品を購買せねばならぬ場合はこの統制會に於て處理す ロ、やむを得ず英國品賣買をなす場合、統制會は商店を指定し許可證を發給する

六、英國品賣買懲罰會組織、英國品を賣買したる者に對し本會懲罰處は相當の罰金を科す

英租界碼頭と絕緣 華北交通が倉庫建設

【天津十九日發國通】日英東京會談進展の過程にあつて租界隔絕に則應英租界碼頭と絕緣し特三區舊ロシヤ公園を中心とする一帶に華北交通會社水運部の手を經て新に尨大なる倉庫施設を行ふことに決定其の第一期計畫として既に六月下旬よりロシア公園上流第九經路より第十經路に達する二百四十米の護岸工事に着手する一方これが背後地二千八百平方米の倉庫三棟の建設に着手して居り何れも八月下旬迄には完成の豫定で此れに引續き第二期計畫として第十三經路下流三百九十米岸壁に碼頭施設並びに十四棟の倉庫及び天津驛より貨物引込線の建設工事に着手する筈である、最近一箇年間に於ける天津港入貨物は百三十萬噸乃至百五十萬噸と見られてゐるが右碼頭並びに倉庫施設完成の曉には僅に一年百五十萬噸の貨物收容能力を發揮することゝなり其の成果を期待されてゐる

ハンカチ振つて投降

ハルハ河畔ソ聯兵投降續出

潮汕の治安確立す 粤東派遣軍當局談發表

【汕頭十九日發國通】粤東派遣軍では十九日左の當局談を發表した

□ □

粤東派遣軍は六月二十一日拂曉突如陸海軍緊密協力作戰のもとに新津港附近に敵前上陸を敢行して以來一ケ月を經過しました

惟ふに

今次作戰は廣東陷落後南支の援蔣抗日ルートとして殘された唯一の據點汕頭の死命を制し蔣政府斷末魔の喘ぎに斷々乎たる最後の鐵槌を下したのでありますこの間派遣軍は克く炎熱酷暑を克服し頑敵を驅驅し廠埠、潮汕、澄海、揭陽と轉戰遂に該地方を完全に占領して今や潮汕地方皇軍の恩威並び行はれ治安は確立せられ一時戰火に怯えて山地に逃亡せる難民も皇軍治下の安居樂業を喜び續々として歸還しつゝある現狀であります、又汕頭東方地區並びに廠埠近郊には夙に治安維持會の結成なり潮汕地方を一丸としたる有力なる治安維持會の結成をみつゝある狀態であります、曩に日本軍上陸の時に急敗せる黨軍は汕頭、潮州各都市を灰燼にせんと焦土戰術を計畫したのでありますが、軍の果敢なる攻擊と神速なる追擊とにより完全に各主要容商店はその厄害より逃れ擾せられたのであります、爾今軍當局は鐵意建設に助力し開稅も七月五日接收し水道も七月十七日より開通し本月末には電燈も點火するやうになり、また七月十五日には臺灣銀行支店の

開設を

見とし金融關係の回復及び取引き送金の業務も近く開かれんとするに至つたのであります、曩に粤東派遣軍司令官は布告を發して潮汕地方の中華民衆の進むべき途を明示せられました、即ち「日本軍の民衆に對して要求するのは即ち民衆をして速に過去における錯誤的疑念を去り抗日容共の妄見を捨てゝ正義日本軍を信賴して反共親日態度を建設することである」とされ潮汕の民はこの布告の主旨を體し又汪精衛の和平救國の精神に民よくこれに共鳴しその精神を實行に移し協力一致日夜新東亞建設に邁進し更生の實を擧げつゝあるのは欣快に堪へざる次第であります、尙この上は百尺竿頭更に一步を進めて當地出身南洋二百四十萬華僑がこの潮汕地方大衆と共に協力し新中華建設の大業に邁進せんことを切望するものであります、軍はこれに對しては努力と援助を惜まず更にまた潮汕地方出身華僑の權益財產、特又故鄕墳墓の靈地に對し絕大なる保護を與へんとするものであります、然れ共將來において

華僑に

して尙援蔣抗日の迷夢より醒めず依然として反日親蔣の態度を持續するにおいては軍は斷乎これ等華僑に對し膺懲の鐵鎚を加へその反省を求める決意を有してゐるものであります

逆襲の敵敗退

【汕頭十九日發國通】潮汕地方失陷の責任者として獨立第九旅長華振中ならびに指揮官は去る八日附けを以つて蔣介石より譴責處分に附せられたこと判明したが、そのため敵は潮州方面に對し驀攀的攻擊を繰り返しては、その都度わが軍に擊退されて居る、去る十五日拂曉には潮州西方四十キロの地點において敵敗殘兵約五百が逆襲し來つたが、わが龜非部隊の猛攻擊に堪えかね死體四十、捕虜二を遺棄して潰走した、また十八日拂曉にも少數の兵を以つて潮州西方地區に對し攻擊を試み來つたがわが警備部隊の攻擊に鎧袖一觸粉碎された

澤州城を占領

【北京十九日發國通】十九日午後五時北支軍發表＝淸化鎭方面より北進せる我が部隊は河南、山西省境の敵堅陣を力攻々略し、十九日朝八時本據澤州城を占領せり

【○○基地十九日發國通】○○部隊は連日の豪雨に多大の困難をおかしながらも澤州街道を北進し天井關、關調村等の敵が死物狂ひの抵抗を試みる敵堅陣を突破し十九日午前八時その先鋒は遂に澤州を占領し輝く日章旗をおし立てた澤州は龍炳勛の率ゐる中央軍の根據地で高等司令部があり山西省東南部における敵最後の據點である

濟源、孟縣空爆

【○○基地十九日發國通】わが陸の荒鷲吉田、石磯各部隊○○機は吉田部隊長自ら指揮のもとに十九日午前黃河北岸[illegible]濟源を急襲、數日前より同地[illegible]に集結中の中央軍を爆擊し[illegible]全彈悉く命中むくむくと上る[illegible]黑煙の間から周章狼狽逃げま[illegible]どふ敵の姿が判然と觀取され[illegible]絕大な戰果を收めた、更に○[illegible]○機は機首を廻しその南方孟縣[illegible]を空襲、洛陽より孟津、孟縣[illegible]を經て黃河を渡河わが北上[illegible]の背後を脅かさんとする戰車數[illegible]十輛を有する中央軍三千に對[illegible]し又巨彈の雨を降らせ敵の[illegible]陣を粉碎多大の戰果を擧げた[illegible]

華興商業銀行券 法幣と絕緣

【東京國通】法幣の暴落に伴[illegible]ひ華興商業銀行券を法幣にリ[illegible]ンクせしむべきか否かの問題[illegible]に關し興亞院では現地當局と[illegible]呼應して鷲尾華興商業銀行總[illegible]裁の東上を機に大藏當局、[illegible]正金等の關係當局者間にお[illegible]いて數日來愼重協議中であつ[illegible]たが十八日深更右關係當局間[illegible]において最後的打合せを行つた[illegible]結果今後華興商業銀行券と法[illegible]幣とは全然絕緣すること並に[illegible]華興商業銀行券の建値は六ペ[illegible]ンス丁度が妥當であらうとの[illegible]方針を決定興亞院では直ちに[illegible]右の旨現地當局へ打電した[illegible]華興商業銀行券の六ペンス基[illegible]準維持策に對しては今後の[illegible]勢に應じ適宜萬遺憾なき方[illegible]をとることゝなつてゐるが[illegible]當つては物資の積極的輸出[illegible]を考慮してゐる、なほ華興商[illegible]業銀行券は從來貿易通貨と[illegible]しての役割を演じてゐたが情[illegible]の變化に伴ひ今後は一般通[illegible]としての役割も漸次擴大し[illegible]行くものと見られてゐる

偶語

今次ノモンハン[illegible]件でソ聯空軍に[illegible]する一般の認識[illegible]刑せず一ケ所に[illegible]注されて來た▼先づソ聯に[illegible]どの位飛行機を持つてゐる[illegible]といふのが第一番に知りた[illegible]ことなのだ▼だがソ聯は[illegible]の國秘密の國として堅く門[illegible]を閉ざしてゐることである[illegible]らもとより▼はつきりした[illegible]とは知るを得ないが一九三[illegible]年に於ける大體の數は六千[illegible]百台と見れば過ちなからう[illegible]然らば次は空中威力の持續[illegible]であり發展性である所謂空[illegible]ポテンシャン、即ち(一)[illegible]軍思想と戰爭計畫、陸海兩[illegible]と空中戰との關係、國家の[illegible]力機構に於ける空軍の地位[illegible](二)機械工業殊に航空工[illegible]の狀態(三)人的要素(四[illegible]工業動員の能力と資源(五[illegible]民間航空(六)空軍豫備([illegible]空中攻擊に對するその國の[illegible]弱など―はどうかといふに[illegible]々の點を綜合するに決して[illegible]るゝに足らない▼これは最[illegible]尊重すべき人的要素を片つ[illegible]しから肅淸の血祭にあげた[illegible]ため只さへ遲れ勝ちの航空[illegible]不振のドン底に落ち込みつ[illegible]術はその人を得ないため沈[illegible]ある▼戰鬪員の技術に於て[illegible]今次ノモンハン事件で試驗[illegible]みである▼スターリンは昨[illegible]秋の大會に現在の空軍を三[illegible]にし世界無敵の空軍を造る[illegible]號いてゐる普通常識を割り[illegible]れない國のことであるから[illegible]んなことをするかも知れな[illegible]か▼果して怖るべきかとい[illegible]に怖るゝに足りない、しか[illegible]侮る可からずと云ひたい▲[illegible]し怖るべからずといふこと[illegible]ふのではないことを各自の[illegible]ソ開戰の場合空襲なしと[illegible]にしつかと收めて置かねば[illegible]らぬ

社說 英ソ交渉のその後

英佛ソ協定が果して出來るか、これは五月末に於けるモロトフの對英案拒否の演說以來、世界がひとしく注目した問題であつた。そして英佛は或る程度の犧牲を忍んでもソ聯の抱き込みに全力を注ぐであらうとの見透しがその當時からひろく傳へられてゐた。その後の情勢を見ると英國の粘着力が豫想外に強く問題の解決は早急に行はれさうにない。

解決の遲延は先づバルチック三國の中立聲明に端を發してゐる。協定を成立させる最大の鍵フインランド、エストニヤ、ラトビヤのソ聯接壤三國にまで英佛の安全保障制を擴大するにあることはモロトフの言に明らかであるが、エストニヤ、ラトビヤの二國はかかる形勢を尻目に六月七日獨逸との間に不可侵條約の締結を終つた。この同じ日、チエンバーレン英首相もまた下院に於いて次のやうな聲明を公にした、すなはち「英國政府は過般來フインランド、エストニヤ、ラトビヤのバルチック三國政府より種々の通告を受けたが、右は何れもこれら三國の嚴正中立維持の意圖を明かにし、現在續行中の英佛ソ交渉の結果として英佛ソ三國の保障を受けることを希望しない旨を示してゐる」といふのであつた。バルチック沿岸三國がかかる態度を持してゐるとするならば、これを無視した英佛ソ三國のこれら小國に對する安全保障協定はむしろ一種の強要に類するものと見ることが出來るであらう。

局面打開の意圖をもつて去る十四日モスコウに到着した英國政府の特使ストラング氏がこの難問題についていかなる對策をもたらしたかは知ることを得ない。ただ外電はソ聯のバルチック三國に對する懸念と、英佛のスイス、デンマーク等に對する懸念とを同時に滿足せしめ、かつこれら小國側からも反對乃至疑惑を生ぜしめぬやうな愼重な案を持參したと報じてゐるに過ぎない。しかしこのやうな巧妙な提案があり得るかどうか、それは疑問であり、事實ストラング特使とモスコウ側との會談は早くも行き惱みの情勢にあるやうである。十五日の第一回會談后ソ聯外務人民委員部は英國の新提案に不滿の意を表したと傳へられたが、ソ聯政府機關紙イズベスチアは十六日朝刊でこれを裏書するやうな政府コンミユニケを掲載したのであつた。つづいて十六日に行はれた第二回會談も何ら滿足な結果が得られず、英佛側はソ聯側の新提案を本國に傳達して會談は暫く休止の形になつたと傳へられてゐる。つねに意表外に出るソ聯の外交だけに速斷は出來ないが、協商の前途には暗影が投ぜられてゐることは否定出來ないであらう。

歐洲の見透しつかず
英、會談延期希望
ニユーヨーク紙報道

【ニユーヨーク十八日國通】東京會談は世界の視聽を集めつゝあるが、十八日のニユーヨーク・タイムス紙ロンドン特電によれば英國は歐洲の危機が增大するに鑑み日英會談を十月まで遷延せしめることを希望してゐる旨左の如く述べてゐる

英國は恐らく歐洲の危機に關する見透しが愈々明瞭となる時まで即ちすくなくとも十月までは日英會談を延期したいと希望してゐる、尤も日本側が十月までこれが延期を許すかどうかと云ふことは別問題である、若し反英運動が著しく惡化すれば英國は疑ひなく損害を少くするため天津の英國居留民全部を一時的に引揚げさせる方法を選ぶであらう要するに英國が歐洲の問題に捲き込まれ著しく脅威をうける限り英國は日本と如何なる紛爭を惹起することも欲してゐない

一方ヘラルド・トリビユーン紙ロンドン特電は東京會談に臨む英國政府の弱腰を指摘して左の如く述べてゐる

チエムバレン首相その他英國側スポークスマンは東亞における英國權益が日本によつて脅威されてゐる事實に直面して可なり强硬な言葉を使用してゐるが、それにも拘らず英國政府は依然として極東において强硬態度を執ることを望まない樣だ、何となれば英國がかゝる行動を取ることは獨伊に對して歐洲情勢を激化せしめる新しい機會を與へる懼れが充分にあるからだ

聯銀券僞造團逮捕
封鎖前の英租界に本據

【天津十八日發國通】天津英租界はさかんなる抗日共產分子の巢源地たるのみならず北支經濟工作の攪亂根據地として活潑な活動を見せて來たがわが當局の斷乎たる檢問檢索の實施により隔絕前まで英國租界內にあつて聯銀券僞造紙幣を發行、金融攪亂を企圖してゐた大がゝりな僞造紙幣團の一味が特別市警察の機敏なる活動によつて逮捕されその全貌が明らかとなつた、天津特別市警察では最近華街西部海潮寺方面で僞造聯銀券が使用されてゐる事實を探知し、極秘裡に犯人の搜査を進めてゐたところ遂に數日前、同街錦園湯池(支那風呂)で首魁秦漢卿以下犯人一味を逮捕すると同時に僞造に用ひられた機械及び僞造紙幣を押收、目下嚴重取調中である

彼等一味は租界隔絕前までは英國當局暗默の庇護のもとに同租界四十一號永興里地下室に本據を置き聯銀券を僞造、第一期計畫として既に一圓券五圓券を五十萬圓造り第二期、第三期計畫として四百萬圓を僞造せんとしてゐたがわが租界隔絕の報を知るや租界外との交通不便を來し攪亂工作にも支障を來すことを惧れ隔絕直前の十三日前記華街に移轉活動を開始せんとしてゐたものである

蔣政府軍事委員會組織變更

【上海十八日發國通】重慶來電によれば蔣政府は軍事委員會の組織ならびに委員の顏觸れを一部變更し十六日左の如く發表した、即ち軍事委員會は委員馮玉祥、閻錫山、李宗仁、陳誠、李濟琛、唐生智、宋哲元、陳紹寬の八名をもつて組織し專ら國防の責に任じ同委員會に一應八處を設け國防に關する重大なる事務を處理する、その名稱および人選は次の通りである

一、總務處 處長賀耀組 軍令を傳達すると共に軍事委員會の一般事務を處理す

二、戰術處 處長徐永昌 國防に關する事項を處理し軍隊ならびに空軍の動員、軍事情報の蒐集、陸軍大學並に外國駐在武官の監督を行ふ

三、軍事處 處長何應欽 軍器整理、軍隊の給養、軍需品の製服、各種の軍事施設、軍需品の準備並にその支配を行ふ

四、軍政處(軍隊訓練)處長白崇禧 各軍官學校の管理及び新兵の訓練に當る

五、政務處 處長陳誠 宣傳の統制及び政治訓練處に關する事項を掌る

六、軍法處 處長何成濬

七、運輸處 處長兪飛鵬

八、人事處 處長吳思豫

九、海軍處 處長陳紹寬

なほこの他軍事顧問委員會があり主席は陳調元とし專ら國防軍備に關する調査研究に當り航空委員會は蔣委員長自ら主席を兼任し副主席には周至柔を充てゝゐる

中支最長の長臺關鐵橋
佐藤部隊の手で完成

【長臺十八日發國通】日本一の鐵橋架設部隊の手によつて中支最長の大鐵橋が完成された、京漢線信陽北方六キロ長臺關の溮河鐵橋は武漢攻略戰當時敵が敗退にあたつて五基の橋脚諸共爆破、之が復興は到底至難とされてゐたが、津浦線淮河の大鐵橋を始め鐵橋架橋數約五十と言ふ日本一の架橋部隊佐藤部隊小橋隊の手によつて十七日午前四百五十米中支最大の鐵橋を見事に完成し同日午前十時晴れの處女列車は大別山にこだまする小橋隊將兵使役苦力の感激の萬歳裡に無事試運を終へた、同鐵橋は敵によつて原形なきまでに破壞されてゐた上に爆破以前も地盤極めて軟弱のため京漢線列車は最徐行してゐたといふ箇所であり、小橋隊は去る五月十五日復舊に着手し以來小橋平中尉(福島縣)以下全員迫り來る雨季を控へ不眠不休全く血の滲む苦鬪を續け、六十日といふ驚異的スピードを以て遂にこれを克服し京漢線による作戰上至大の貢獻を齎したものである、なほ同工事の使用人員は將兵延人員八千、苦力三萬人架橋資材は一切現地において徵發したものである

日支電報に一劃期
漢字送信機發明
松前博士の努力成る

【東京國通】日本語の電報なら片假名四十八字を操つて自由な言葉が綴り出されるが支那語は假名がないため非常に不便で日支兩國の電報は煩雜を極めてゐたが遞信省工務局課長松前博士のヒントにより鳥海技師と同電氣試驗所大橋舵納技手が研究の結果タイプライターの原理を利用してどんな支那文字でも簡單に送ることが出來る劃期的な電信機を發明した、從來支那文字の電報は一字に對して數字四單位を組合せて送り例へば「一三二一」と送ればこれを受信者が譯して「天」といふ字に書直してゐたゝめ非常に手數を要してゐたがこれをタイプライター同樣に實際に天の字を記したる鍵を押せば自動的にイロハ四十八文字の組合せとなつて例へば天ならば「イロ」とテープに押して送ればこの「イ、ロ」が受信機の譯出鑽穴機といふもの〻なかを通ると自動的に天の活字が動いて受信機に記される、これに實用される支那文字は三千字でこのほかに六千字が隨時符號の變化によつて附け加へられることになつてをり相當難解な支那文の發受信にも事缺がないとのことである、このため從來支那語電報に必要だつた飜譯料は全然不必要となり時間と金額の著しい節約が行はれしかもこの一臺の價格は發信機二千圓、受信機は譯出鑽穴機とゝもに五千圓といふ安價なものである

墨洋丸乘員救助

【東京國通】郵船墨洋丸の遭難現場は室蘭東南東九千五百浬ホノルルと橫濱を結ぶ中點より稍々本邦よりの洋上であるため救助通信が意の如くならず氣遣はれてゐたところ、米國油槽船アソシエイテッド號が折よく現場附近を航行直ちに救助に當り船客百二十名乘組員百二名中乘組員一名死亡したのみで全部救助した旨十八日午後郵船本社に入電があつた、なほ船體は全く放棄のほかなしと、同船は去る四月五日橫濱を出帆、南米東岸を航行、邦人客と銅鑛石、棉花硝石等を積荷しロスアンゼルスを經て二十三日橫濱に入港の豫定であつた、出火原因は銅鑛石の自然發火らしい

治績愈よあがる
維新政府の治政
輝く榮光の前途へ

亞細亞大陸に曉の警鐘を鳴らした盧溝橋事件以來早くも二春秋、聖師進むところ支那舊政權の軍制は至るところ潰え去り、大陸の新秩序は破壞の跡に鐵の強固を誇つて築かれてゆく、北支の臨時政府に遅れること三月、戰禍のうちに喘ぐ中支三千萬の民衆に新生の喜びを與へるべく皇軍の絶對支援下に昨年三月二十八日維新政府は舊政權の首都南京に生誕の第一聲を擧げた、爾來一年有半政府は全力を擧げて治下南京、上海二特別市江蘇、安徽、浙江三省の復興に努めた結果、治績日一日と暴り今やこゝに聖戰第二周年の興亞記念日を迎へ維新政府の前途は輝かしき榮光を仰いでゐる、今その治政の大要を示せば左の如くである

△臨時政府との緊密關係強化 政府成立以來兩者は緊密なる關係を結び新中國建設に對する兩政府共通の事項は聯合委員會において終始圓滿に處理されてゐる、同會議は回を重ねること既に四回、和平救國工作、防共に對する共同歩調、援蔣國組織化、不足物資の交易等兩政府の強調は愈々強化した。六月たまたま天津英租界隔絶問題發生するや內政部長陳群氏は「われ等後楯とならん」との激勵電を發し二者一體の立場を明確に聲明した、更に七月中旬開會の第五次聯合委員會議を經兩者の完全融合による中央政權確立への飛躍が期待さるるに至つた

△日支經濟合作の強化 日本の中支における經濟總師たる中支那振興會社との合作提携による十一事業會社の創設經營によつて鑛業、經濟、交通各部門における基本體形全く整備し日本の優れた技術と組織に導かれて中支は一路再建に向つて力強い步みを續けてゐる

△甦へる民衆 民國革命以來は日支事變の大旋風を喫つて完全に大地に叩きつけられその再起は殆んど絶望とされへ思はれた、しかし漢民族の持つ不屈の生存力は絶望のうちに一縷の光明を見出し早くも建設の斧を揮つて立上つた、昭和十三年三月廿八日、この日こそ中支三千萬民衆の希望によつて創設された維新政府はまづ氾濫する飢餓の救濟に主力を注ぎ各省市に賑恤委員會を設け飢餓の大衆に大量の米鹽を支給し、次いで民衆の更生策に乘出した新政府は小商人の副業資金、農民の春耕貸款及び蠶卵紙の貸與に相當額を支出し農商民の復活に拍車をかけた、政府は更に水準以下の生活大衆に醫藥の福音を與へるべく半期三百萬圓の豫算で縣立病院の大量新設を圖るべく鎭江、無錫、蘇州等十縣においては既に開設準備に着手、七月末までには一率開院の運びとなり、從來近代醫學から全く忘れられてゐた中支民衆にとつて大喜びを齎らしつゝある

△地方治安 皇軍不斷の努力と綏靖軍の擴充及び警察の完備強化に伴ひ漸次安定の度を昂め四萬の綏靖部隊三千の警察官は警官學校における最新教育を受けて皇軍の協力下に舊政權遊擊部隊の潰滅掃蕩に邁進してゐる一方民衆の自衛も次第に充實し保甲制度再組織、防共靑年團の結成工作も逐次進展し、九月に劃期的な戸籍制度の實施が期待されるに至り、中支における遊擊兵匪の完全清掃を目指し官民の秩序陣は愈々完備し明朗中支の再建、新秩序の確立も遠からずとの感を深めさせてゐる

貿易省新設案成る
企畫院の準備進めらる

【東京國通】企畫院では國際經濟戰に對處して貿易計畫の強力遂行を期するため貿易省新設について諸般の準備を進めてゐたが、この程案を得たので青木總裁は近く貿易問題に關する閣僚懇談會に出席極力貿易省新設を要望するものとみられる、しかして貿易省の機構は對外貿易に關する外務省通商局、商工省貿易局、大藏省中國税改策および爲替管理に關する事務、遞信省管船局および拓務省中滿支以外の方面に對する海外拓殖事務を貿易省に統一する外、時局に伴ふ對外貿易政策刷新を圖るため一般的企畫および情報の蒐集頒布に關する事務を統轄するため貿易大臣管理の下に貿易企畫情報局を創設せんとするもので要項左の通り

△本省

總務局 官房に關する事項

交渉局 通商條約の締結及び對外貿易上の一般交渉に關する事項(外務省通商局及び貿易局第一部に關する事務、但し企畫情報に關係するものを除く)

輸出入局 貿易の保護助長及び統制に關する事項(主として貿易局第二部の所管事務)

爲替局 外國爲替に關する事項

管船局 船舶に關する事項

企業局 海外拓殖に關する事項

(貿易企畫情報局)

第一部 企畫および政策

第二部 一般貿易情報の蒐集および供給

新舊米亞細亞艦隊司令長官

【上海十九日發國通】一九三六年十月以來約二年九月に亘つて米國アジア艦隊司令長官の重職にあつたヤーネル大將は近く更迭、歸國することとなり十八日午後旗艦オーガスタ號に便乘青島より歸滬した又新任米國アジア艦隊司令長官トーマス・チャールス・ハート少將は家族同伴、十九日午後、リP・クーリッヂ號で着滬した、新舊兩長官の事務引繼は來週中に行はれる筈である

學生グライダー合宿練習

滿洲飛行協會新京支部では暑中休暇を利用して學生のグライダー操縱練習を實施し技術の向上と身心の練磨をはかり併せて團體生活に慣熟せしめるため、康德六年度學生班第一回及び第二回合宿練習を行ふことゝなり、十七日から新京南飛行場で練習を開始した期間は各十日間である

大陸の戰士學生班の進軍
千七百名廿一日羅新上陸

滿洲建設勤勞奉仕隊學生隊(乙種)千七百六十二名が二班に分れ夫々左記日程により羅津に上陸するが實践本部からは特に本部長代理として副本部長結城開拓總局長が赴津する豫定である

△第一班 八百六十九名は七月二十一日正午羅津着、同日午後十時十分發列車で各配屬地に向ふことになつたが、そのうち獸醫特務班(九十四名)測量特務班(十名)は廿二日午後七時五十二分着列車で入京

△第二班 八百九十三名は廿三日正午羅津着、午後十時十分發列車で各配屬地に向ふが、そのうち採鑛特務班(十一名)は廿四日午後七時五十二分着列車で入京

夜間飛行訓練中兩氏殉職

【東京國通】海軍省公表=本月十五日飛行機隊夜間攻擊訓練中海軍少佐管久恒雄及び海軍大尉小川威殉職、十六日附管久少佐は海軍中佐に小川大尉は海軍少佐に任ぜらる

北邊勤務官吏に臨時津貼支給

政府は滿洲三大國策の一つである北邊振興積極化のため今回特に北邊振興地域に勤務する官吏に對し意氣の旺盛を圖ると共に勤務地の特殊使命を自覺せしめ北邊振興事業の圓滑急速なる遂行を期するため給與令に規定されてゐる俸給津貼の外に新たに臨時津貼を給することゝなり近く臨時津貼注を制定公布し六月一日の東安並に北安兩省開設の日に遡及し適用することゝなつた給與率は左の通りである

一、甲種(國境に直接接してゐる各省)=俸給又は給與の一割五分

二、乙種(國境各省の背後にある省)=俸給又は給與の七分

國防皇軍慰恤獻金品(本社取扱)

一金五萬四千六百七十七圓三十九錢(關東軍司令部)

一[illegible](同)

一金七十四圓三十五錢(軍用家畜慰問金)(同)

一金三百圓也(國防獻金)(〃)

一金五千八百十三圓六十八錢(駐滿海軍部へ)

累計六万〇〇八百六十五圓四十二錢

……七月十八日迄の分……

國務院辭令

司法部參事官 孫廣文 兼任大同學院教官、敍薦任二等 (七月十九日付)

北海道廳技師 大西朝男 任交通部技正、敍薦任二等 派新山土木建設處勤務

北海道廳道路技師 宗石豐治 任交通部技正、敍薦任一等 派濱拉爾土木建設處勤務 (七月十八日付各通)

國務院會議事項

七月十日の第卅三次定例國務院會議で可決され七月十八日參議府會議を通過せる左の一件は七月廿日付公布の豫定

一、康德六年度各特別會計第二準備金支出の件(滿洲炸藥株式會社出資金六十二萬五千圓、協和鐵山株式會社出資金二百萬圓)

六月中出願登錄

六月中における出願及び登錄(特許)件數國籍別左の通り(括弧內は登錄數)

出願人國籍	特許	意匠	商標
日本	二(〇)	二(一)	四四(四八)
イギリス	二四〇(一九〇)	五六(三)	二七一(三〇〇)
アメリカ	三(四)	一(一)	二(二)
ドイツ	五(四)	一(一)	三(六)
フランス	二六(五五)	一(二)	九(一三)
イタリー	一(一)	一	一(一)
スウエーデン	一(一)	一	一(一)
オランダ	一(一)	一	一(一)
デンマーク	一(一)	一	一(一)
リコタセンブルグ	一	一	一
無名國籍	一(一)	一	一(一)
合計	二八一(三六二)	五八(一八)	三三〇(三四五)

なほ日本人および外國人別に見ると左の通り

	特許	意匠	商標
日本人	一	二	四四
外國人	二八〇	五六	二八七
本年一月以降累計	一、四〇三	三三二	一、六〇〇

應召中小工業者營業に援護の手

【東京國通】商工省では昨年度より應召中小商業者の營業につき適切なる援護施設をなし遺家族の生活安定を圖ると共に福音に對し遺憾なきを期して來たが本年度より本施設は應召中小工業者もその對象となすことゝし補助金を增額して一層積極的に本施設の活動を促すことになり十八日みぎ各地方長官宛總額七十二萬圓の補助金を交付する見込附なる旨內示した

家庭

直接は危險です　皮膚に當る扇風機の風

◇…暑いとつい扇風機に長くかゝりたがります、しかも一尺位しか離れないで、強い風を皮膚にあてゝ暑さを除かうとしますが、扇風機の風は出來るだけ間接にあてる方がよいのであります、直接に強い風を皮膚にあてますと、一時は非常に涼しい感じを得ますが、やがて氣持が惡くなつて來ます

◇…これは急激に風が皮膚に當るので皮膚の表面の血管が急に收縮してそれがために自然血液の循環が惡くなりますといろ〳〵な故障が體の中に起り活動がにぶくなり、氣持も惡くなる譯です

◇…特に注意しなければならないのは可愛さのあまり赤ちやんに強い扇風機の風を直接にあてることです、非常に纎細な皮膚をしてゐる乳兒はそのために吐氣を催したり、胃腸を毒して來ます

生めよ殖やせよ

姙娠中の榮養に注意　死亡率の高いは榮養が十分でない爲

榮養が良いと姙娠しにくゝなると佐伯矩博士はいひます、これは大問題です『生めよふやせよ』の秋に、若しもこの言葉が本當なら考へ物です、しかし御安心なさい、博士から納得の行くやうに、榮養と姙娠との關係を話して頂きました。

私どもの體は二つの部分―子孫を殘すための繁殖細胞と體を成長發育さすための個體細胞とから成つてゐます、そして姙娠は繁殖細胞の働きと正比例し、個體細胞の働きとは反比例します、ところで、この譯は後で申します、この働きといふ言葉を榮養といふ言葉に置き換へてごらんなさい、姙娠は繁殖細胞の榮養と正比例し、個體細胞の榮養と反比例するとなりませう、これを更に別の言葉でいへば、繁殖細胞の榮養がよいほど姙娠しやすいが、逆に個體細胞の榮養がよいと姙娠しやすいとは限りません

さて

その理由は何かと申すと、假に私どもが食物から攝取する榮養を十としませう、そのうち五だけが繁殖細胞に役立つ榮養となり、殘りの五が個體細胞に役立つ榮養となれば理想的なのですが、今個體細胞に必要な榮養が入り得られるに反して繁殖細胞は僅か二の榮養だけしか分け前が貰へないとすればいくら外見榮養が良くてもそれほどの姙娠率は高まらず割合から見て低下してゐる形になります、その點上流の家庭は美食の偏食を多くしてゐますので下層の人々より姙娠率は低下してゐます、これは女の體位向上、榮養の十分な選擇で除くことが出來ます若しこれを怠れば姙娠しても早産、流産などが多く、生れた兒も弱いので乳兒のうちに死亡する者が多い譯になりますが、この反對に榮養に偏頗がないと出來た胎兒は丈夫で乳兒となつても病氣したり死んだりする數が少く、結局國家のためには得なことになるのです、今、榮養と姙娠率死亡率の關係を數字で示すと

榮養	良	中	不良
姙娠回數（姙娠一人當り）	三・四	四・五	五・三
死亡率（姙娠回數に對する百分比）	六・三％	二一・九％	四八・六％

これで見ても、榮養が惡くなるに從つて姙娠率は高まるが同時に死亡率も高くなることがわかるでせう、だから結論はかうなります、即ち女はどこまでも榮養に注意して體位の向上に努めねばなりません、そのために姙娠率は低くなつても幸ひにして生れ出た子は丈夫で元氣よく、第二の國民として恥かしくない健康兒となるのです

風味豐かな……季節の漬物　四種

茄子胡瓜めうがの鹽おし

茄子と胡瓜、茗荷は先づよく洗ひます、茄子、胡瓜は薄く輪切りとし、茗荷も薄く刻み三種合せたものへ鹽を振り混ぜて押をします、頂く時は一寸水氣をしぼり洗はずに出します、茗荷の香りで風味よく簡單ですが美味しいものです

キヤベツのゆかり漬

朝作ると晩に間にあふ甘藍と紫蘇の葉の漬物です、甘藍はよく洗ひ固い筋を取り去り、一分位の纎切に刻みます、紫蘇の葉もよく洗ひ細かく纎切に刻み、甘藍と混ぜて鹽を振り輕く押をします、これも洗はず水氣をしぼつたゞけで供しますから、塵が入らぬやうに御注意なさる事です、澤山作らないで一回分位つゝお作りになる方が美味しいです

めうがと枝豆漬

材料は枝豆、こいだ豆だけ二合、茗荷は廿本位、他に青紫蘇、青唐辛子で、豆は鹽を少し入れて茹で冷水にさらして置きます、茗荷は縦に纎切にします、青紫蘇、青唐辛子も細く纎切りにし、これ等のものを全部混ぜ合はせ鹽を振り一晩漬て頂きます

茄子と胡瓜のなら漬

茄子と胡瓜はよく洗ひ一晩鹽漬にします、茄子は鹽と明礬でもんでから漬ると色が美しく仕上ります鹽漬から取出したら味淋で洗ひ、粕を酒でのばして一寸砂糖を入れたものに一週間程漬て置きますと鮮かな色のなら漬が出來ます

奉仕隊漫畫報告

渡船隊　阪東牙城文並畫

北滿山へ行くにも、馬大屯へ出るにも、佚爾の街外れ牡丹江を渡つて向ふ岸へ出なければならぬ。山形の三個中隊は一時間も岸で待つて、やつと傳馬船に乘りこむことが出來た、船の用意がまんまんで―みんな乘りこんでも船を岸から押し出すのにも甚だ手間がかゝる、船が漸く河の中へ出た、悠々たる流れ、これも漫々的の標本かと思つたら、案に相違のこれはまたかいかいで一船は大分下流に流されてしまつた、おかげで發着所でうんと歩かされた、岸下を河に沿ふて延々と吾等の一行は續く、「オーイ快々的」「待てよ漫々的」上陸早々にやつと覺へた滿語の應酬だ

渡船　牙城畫

颯爽たるお出迎へ！

渡船場を上ると、丘の彼方、白雲の中から一騎また一騎、砂塵を蹴つて近づくのがある醤油で煮つめたやうな手拭を後鉢卷に結んでゐる、髯茫々の山賊みたいな男だ、銃を背中に背負つてる、銃には旗がついてる、背中一杯にデカイ旗！白の丸だ、吾々一行の中へいきなり突込んでくると、北菜山屯開拓團のお出迎へなのだ滿洲國のカーボーイをみてみんな「大陸」を感じて奮ひ立つた

颯爽たるお出迎へ

物によつて夫々違ふ　夏の洗濯法　知らぬとトンダ失敗

お洗濯と一口に云つても洗ひ方を一通り呑み込んでおかぬと往々失敗することがあります、そこであまり氣づかないで品物を臺なしにせぬやう、與つた品物のお洗濯について御披露いたしませう

レース物

まづ一番厄介なのはレース物ですが、これは絲が切れるのを防ぐために、袋のやうなものに包むか又は丸いものに巻くかして洗ひ、絲に荒く當らない工夫をしておき、洗ひ液は木綿レースならば普通の洗濯ソーダ、絹レースの場合は硼砂末を微温湯に溶かして用ひます、汚れを落してから水洗ひした上で更にマルセル石鹸をぬるま湯に加へて泡立てた中に入れて暫しつけるやうにして洗ひ、それから充分水洗ひしてから絞らずに水を切つて糊つけを致します

ソフトカラー

ソフトカラーは、カラーを洗つてから、片栗粉を湯でトロリと伸し、これをつけて皿の縁にのばして張りつけます、そのまゝ乾かせば程よく丸味がついて、アイロンの必要がありません

麻もの

麻物の洗濯、白麻物は粉石鹸を冷水に溶かし、色物は冷水のみで洗ふか普通石鹸で洗ひます、仕上の際は色物は布糊、白物は澱糊を使ひます

ネクタイ

ネクタイ、これは先づ型の崩れないやう、中央を白糸で眞直に一寸位の針目で綴をかけ、次に水一合にアルコール五六滴を入れその中に十分間ほど浸して置きます、アルコールの代用に大根汁を用ひてもよろしうございます

半衿

半衿の洗濯には、汚れを分ければ白粉、香油、襟垢となります、白粉はオリーブ油を筆で塗つてその部分をつまんでその上から揮發油を注ぎ全體をしめして、空氣に觸れない樣に揉んで濕り氣がなくなつた時強く振つて風通しの良い所に乾かします、それから兩方に引張つて湯氣を通します香油と襟垢だけの時は、オリーブ油は用ひずにたゞ揮發油だけを用ひます、また洗濯の後で手に石鹸が殘つて氣持の惡い時はお酒を一二滴落して手を拭きますとサツパリいたします

富士絹

富士絹の洗濯は、とかく光澤を失ひ易いのでマルセル石鹸の微温溶液にモノボール油少量を加へた中で手早く洗つて水洗ひをしてお乾かし下さい

兒童の作品

遠足　三笠校四年　佐々木イチ

今日は、うれしい〳〵遠足です、始めて浮月潭へ行くので、どんな所だらうと思ひながら學校へ行きました、學校へ來て見ると皆な元氣なかほにこ〳〵とした顔、うれしさうなかほをして居ります、遠足の御注意を倉橋先生から受けて、校門の所でバスにのるのです、一だい來てゐて、そこにはもう乘つてゐる人がゐました「一、二、三、四。」十一だいのバスが走つて來ました。私達は、「わー」とよろこびのこゑをあげました、私の組は五のバスで、中はいつぱいです。滿人の人が何事だらうと云ふやうな顔をして大ぜい見てゐました。

やがてバスは出發します、みんなは、「わあ！きやうそうだ早く、早く、」などといつてはやしたてました、しばらく走つてバスは靜かな畠の作つてある所を通りました。野原のやうな所には、きれいな花がいまをさかりに咲いて居ります、だれかゞ、「あ、馬がまぐはをひいてゐる。」といつた。ほんとに馬が一生けんめいに働いてゐた。そのそばには白い花が少し咲いて居りました。山が見えて來ました。だれかゞ、「先生、何分で着くのですか」ときいた、「四十分だからもうすぐですよ。」とおつしやいました。「まあ、うれしい」と皆言つて「早くつくといゝわ」と外を見ました。いろ〳〵のことを話してゐると先生が、「はい、おまちかねの浮月潭へきましたよ。」とおつしやいました。皆は大よろこびです。バスからおりると、よい氣持でほがらかです二列に並んで頂上へのぼります。てふ〳〵がたくさんぴら〳〵とんでゐます、花をとり〳〵行くと先生が「こちらからおりませう」とおつしやいました。

急な、坂なのでみんな「あゝあこわい」と叫んで走りおりました、途中でこしをおろす人もありました。目の下は池です。内地の海のやうでした私たちは「なつかしいわね」といひ合ひました、池はすゞしさうにさら〳〵と波を立てて居ります、私は木にさされたので大きな聲で「あゝいたいいたい」と言ひながらのぼりました、きれいな花がさいてゐました花をとると皆「先生この花何といふのですか、」などときく「これは、ほたるぶくろ」と先生は教へて下さいました私がしやうぶみたいなのをとつて名を聞くと「先生それたんだか知らない。」とおつしやいました。

頂上へ來ると、列に並んでまだ登つてゐない人がゐるかどうかしらべて別れをなさいました。

私と、杉本さん、青山さんの三人でおべんとうを食べることになつてゐるのです、私と杉本さんは、大きい聲で「青山さん」とよんでゐると「はい」と云ふ返事がしたので「私たちさがしてゐたのよ、ねえと」私と杉本さんは、かほを見合はせて笑つた。青山さんも、「私もさがしてゐたのよ」といつた。三人でかたに手をかけて、いゝ場所をさがし出し、新聞紙をしいてこしをおろしました。草が青々とのびています。杉本さんが「私、一ばん始に卵を食べるよ」と言つて一つ出して食べてゐます。青山さんがリンゴ私もリンゴを食べました。こんなによい景色を見ながらたべるので、ほんとうにおいしうございました。お母様からこしらへていたゞいた、おにぎりをはん分にわると日の丸三人で「おいしいね」といひながらむしや〳〵とたべました。杉本さんが「一ばん」といつておべんとうばこのからを見せて「ばなゝをたべようかな」、といつて一本皮をむいて食べやうとしたら、虫がくつてゐたので、「たべられないよ」と、なげすてました三人でごはんをすますと「しやせいをしよう」と杉本さんがいつたので、三人はリツクサツクや水とうをかたづけてざつきちやうや、えんぴつをもつて、池の見える方へ行きました、私が池岡等遠くに見える景色を畫いてゐると、山が坂なので「わあすべるー」といつてゐたら、青山さんが「じやあ、私がせきをかへてあげる」とせきをかへて下さいました。私が「くればす」といつたら「ほらやるよー」といつて、青山さんが貸してくれました。先生がゐらつしやつて、青山さんを「あの人だれ」とおつしやいました「青山さんです。」と杉本さんと二人で答へると「さう」とおつしやいました。

東方さんの、おばさんが、「何時頃學校へかへるのですか」とおきゝになりましたら、「二時半にこちらをたちますが學校には三時か、三時半頃になりませう」とお答へになりました。私は、「ちやわたし、おくわしをたべてしまふ」といつたら「早くたべなさい」と先生がおつしやつたのでなつみかんをたべてゐると集まれのあひずがあつたので、いそいでかたづけてリツクサツクをかついで、二列にならんで、ゐると先生が數へて居られましたが、本田さんがゐません。みんなでよんで見たけれども答がありません山の上からおりながらも「本田さん、本田さん」とみんなで呼びましたけれどもゐませんでした。先生は本田さんを探しにゐらつしやいました。私達は二列に並んで元の道をひきかへしてバスのある所まで來てバスに乘つてゐると、先生が本田さんをつれてかへられたのでみんな安心しました。バスは學校に向つてはしりました、やがて學校に着き先生とお別れしてお家へかへりました。

今日の遠足は大へん面白かつたと思ひます。

ラヂオ　けふの番組　―新京放送局―　M・T・C・Y　二十日（木曜日）

□……朝……□

六、〇〇（新京）建國體操
六、一八（大連）入港船のお知らせ
六、二〇（東京）ニュース
六、三〇（大連）中等滿洲語講座　秩父固太郎
六、五五（大連）朝の修養　名僧傳（十五）・親鸞（下）
七、二〇（大連）朝の音樂（レコード）　千葉康之
一、チエンバロ獨奏
1、組曲第一番　パーセル作曲
2、アルマンドとクウラント　ドルメッチ
二、バイオリンと箏　ヘンデル作曲
春の海　宮城道雄作曲
三、合唱
1、あかがり（日本古謠）
2、菊の盃　ベートーヴエン作曲
四、箏と管絃樂
落葉の踊　菅原明朗編曲　宮城道雄作曲
八、二五（新京）建國體操
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東京）經濟市況
一〇、〇〇（大・新）經濟市況
一〇、〇五（奉天）幼兒の時間　音樂あそび（第一回）　歌川彩子
一〇、一〇（新京）家庭講座　夏季衛生講座（七）夏の氣溫と疾患　醫學博士　飯尾純三
一〇、四五（新京）家庭メモ
一〇、五〇（新京）料理獻立
一一、二五（大連）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報

□……晝……□

〇、〇一（新京）晝の演藝　歌謠曲（レコード）
一、リリウエ
二、雨と姑娘
三、リラの花咲く頃
四、蒙疆の月
五、海邊は樂し
六、ランベス・ウオーク
七、アイ・アイ・アイ
八、印度の夜
〇、三〇（東、新）ニュース
一、〇〇（大・新）經濟市況
二、〇〇（大連）經濟市況
三、〇〇（東京）經濟市況
三、五〇（新京）滿洲帝國對外放送開始記念北米西部向放送
一、開始アナウンス
二、挨拶　外務局長官　蔡運升
滿洲電信電話株式會社放送部長　釦田直造
三、管絃樂　新京交響樂團　指揮　大塚淳

□……夜……□

四、〇〇（東、新）ニュース
四、四〇（大連）經濟市況
五、二〇（奉天）ニュース「鮮語」
（奉天）演藝「鮮語」
六、〇〇（東京）子供の時間　世界の名作から　黒馬物語（二）　三輪壽雄外
六、二〇（東京）コドモの新聞
六、二五（哈爾濱）初等ロシア語講座
七、〇〇（東京）ニュース
（新京）勤勞奉仕隊ニュース　櫻木新吉
（新京）ニュース、告知事項、今晩の番組
引續き大相撲滿洲場所實況（新京初日）＝大同公園相撲場より中繼＝　擔當アナウンサー　荒井正道
（雨天の際は次の通り變更）
七、三〇（東京）國民歌謠　防空青年の歌
七、四〇（盛岡）俚謠
一、外山節
二、南部馬方唄
三、夜曳唄
四、南部駒索唄
七、五五（大阪）浪花節　愛國者梅田雲濱　京山若丸
八、三〇（東京）時局談話　銃後經濟人の心構へ　日本商工會議所會頭　工學博士　伍堂卓雄
九、〇〇（大連）掛合義太夫　假名手本忠臣藏　鹽谷判官切腹の段
鹽谷判官　和田あさひ
由良之助　白川白水
馬之丞　三橋みどり
藥師寺　古川翠香
三味線　竹本旭勝
九、三九（東京）時報、ニュース、ニュース解説
（新京）ニュース、告知事項、明日の番組
一〇、二五（新京）滿洲建設勤勞奉仕隊便り（對日滿）
一〇、三〇（新京）今日のニユース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（講話）

豆ニュース（七月二十日）

◇三中井百貨店
▲本場岐阜提灯陳列（三階）
▲レースカーテンと簾陳列（三階）
▲カツトグラス器陳列（三階）
▲佛壇佛具陳列（三階）
▲籐製家具陳列（三階）
▲和洋家具小物類陳列
▲夏のテーブル掛陳列（三階）
▲夏の子供玩具陳列（三階）
▲夏の半衿と小物陳列（二階）
▲うすもの呉服陳列（二階）
▲盛夏用婦人子供服陳列
▲雨コート（仕立上品）陳列
▲絽、タオル（仕立）夏布團陳列
▲箱入タオルとハンカチーフ陳列
▲箱入シヤツと靴下陳列（一階）
▲特選三中井石鹸陳列（一階）
▲新柄ネクタイ陳列（一階）
▲海水浴用品新型陳列（一階）
▲ウツドハンドバツク陳列（一階）
▲趣味の靴下駄陳列（一階）
▲婦人靴下（箱入）陳列（一階）
▲三中井滿涼飲料陳列（一階）
▲罐詰瓶詰合せ陳列（一階）
▲化粧品詰合せ陳列（一階）

永遠に幸あれ（七）

砂山楠雄

若芽のふくらみと共に浮きくと日毎人々に樂しい夢を結ばしめた滿洲の短い春も水の流れの如くいつか過ぎゆき日毎灼けつく樣な大陸の酷暑の季節が訪れた、樹々は思ふ儘枝葉を張り涼しい濃い綠陰をつくり酷暑の一時の休息所をつくつてゐる。

苗圃に働きにくる男も女も皆んな薄い白いシャツ一枚になつてあへぎながらも活動を續けてゐる。王一家の父も娘も日毎一日の勞働に苗圃に姿をあらはしてゐた。王は相變らず痩せ骨太い體で默々と更生の道をたどつてゐる、娘も去年始めて見た時程可愛いあどけなさは生活にやつれた爲か日一日と大人びてゆくのを悲しい眼で勇三は見守つてゐた。

王の一家はつゞく限り凡てを捨て力强く大地に生き更生の曙光にひたすら追ひすがつてゆく勇三は度々王と娘が晝食もとらずひそ〳〵と事務所の裏山で人目をはゞかつて話し合つてゐるのを見かけた。

彼等は長い多期の生活の貯へもない爲にあらゆる苦鬪とも鬪ひながら日々を送らねばならぬのだ。部落の者は一向更生しない正しく生きておる王に振りむこうともしない、只白い眼で冷たく彼等の生活をざつと傍觀し援助さへあたへてやらうとしない、然しは王其等に見向きもせず自己のつゞく限りの力で働いてゆく、娘の秀玉までも一緒に可弱い女手で働かすには何よりも辛いくことだつた、然し現在の狀態ではぢつとこみあげてくる悲しみも押へ秀玉の働いてくれるのを默つて見てゐるより仕方がなかつた、苗圃には種蒔をした色々の樹の苗が酷しい日射しにが力强く抵抗しながら生育してゆく、王一家と苗木だけが力强い生へ汗にまみれ挨にまみれながら鬪つてゐる勇三にも只一つ良心の呵責があつた。この度の日支事變は一向終末をつげようともせず日本は長期抗戰に入り國民精神總動員が日毎聲高く叫ばれてゐる、新聞紙上には昨日〇〇地點、今日〇〇要塞と皇軍のむかふ所敵なくの連戰連勝だが然しその陰には幾多の貴い犧牲の血が生々しく流れてゐるのだ、迷夢に覺め新しい平和がきづかれゆく支那。故鄕の村の友は殆ど全部が召集され銃を捨てゝ雄々しく戰線へと出動して行つてゐる。

勇三にも今に赤紙の召集令狀が來るかも知れない、それは覺悟の上だ、國を出る時は東洋平和の爲にこの滿洲の土に化す決心で故鄕を捨てゝ昨年渡滿したのだ、希望と熱に燃えてゐる勇三は無智な滿人達の生活、智力向上の爲に微力をもつて盡すことを心に誓つて過してまた一年有餘ではないか、我力の盡きるまで鬪ひぬくのだ。

娘の秀玉も父親が助けられて以來勇三には前より以上に打解けた信頼しきつた態度を見せるのだつた。貴も勇三を眞に理解し信頼したのか王一家には蔭になり陽になり助力してゐるのが勇三にも明らかに解つた、勇三の信じてゐる人達は皆ん氣心一つに力合して互に助け合つてくれるのには勇三は嬉し涙にむせるのだつた、心より喜ばしい大陸の平和建設そして民族協和の叫ばれてゐる今日小さいながらも勇三の進む道に步調を合し更生した王一家や貴達よ、勇三はあらゆる困難も生命をなげうつて一時も早く東洋平和民族協和の花が咲き馨るべく努力をおしまない決心を一層堅く心に誓つた。壓迫され通して來た滿人達も新興滿洲の產聲が上つて以來平和を夢みながら滿洲國の繁榮と共に遲々たる步みであるが平和が一年一年と日增に成果をおさめてゐるのだ。

黎明の鐘るりひゞき
東洋平和、民族協和の合唱が
新興滿洲に渡うちて
王道樂土に足音高く
進め若人
黎明の鐘なる樣へ……
大陸に…大陸に！
手をとれ五族
右手に民族協和の旗かざし
左手にかざす平和の劍
進め若人
平和の輝くもとへ

書架

…………本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）…………

△月刊滿洲（八月號）發行日繰上げで七月は休刊となつた、金子定一「日本の自己過小評價と焦燥病」寺田喜治郎「教育家に問ふ」志波西果「黄河制壓」杉村丁甫「漢人か滿人か」藤田記者「一德一心街頭打診行脚」田村敏雄「人間と動物との差異」石敢當「一味樸雜草」山口愼一「官場現形記に就ての覺書」松崎鶴雄「中支の旅」南里順生「特派員物語」岡本武德「あの頃のことども」天野光太郎「松花江下り」五百木元「支那語通譯思出話」三立協「二十年前の奉天」「開拓團長に聽く座談會」田村光子「時局と女性の愛情」等讀物と論稿に溢れてゐる。（新京崇智胡同六〇一、月刊滿洲社、五十錢）

△國際パンフレツト通信（七月十一日號）フオツクス「北支日本軍醫療部隊視察記」を載す（東京市麹町區有樂町二ノ四、タイムス出版社、三十錢）

△健康滿洲（日文版七月號）北野政次「滿洲で特に注意すべき夏の食物中毒」稻葉逸好「滿洲の雨期から炎暑へかけての育兒の心得」其他（新京民生部內、滿洲結核豫防協會、二十錢）

△健康滿洲（滿文版七月號）王洛「人體寄生虫及其豫防」何守禮「談々花柳病」「理想伴侶座談會」等（滿洲結核豫防協會、一角五分）

△北支蒙疆の經濟建設　開發進まんとする同地方の經濟現況、新設會社等について解說したパンフレツト（北京東長安街、華北交通株式會社、十五錢）

△物資と配給（七月創刊號）生活必需品會社の動きについての資料を盛る、その他隨筆、ペン部隊に聽く座談會記事、山口愼一「滿洲農村建設と農事合作社運動」等あり（新京東三條通三二 滿洲生活必需品配給株式會社、三十錢）

△滿洲評論（七月十五號）時評「支那事變の行衛」「滿洲國の行政改革」「滿洲勞務統制の一元化」「經濟價格料の設置」具島兼三郎「英國外交と國際情勢」鎌又生「物價高と零細器」等（大連市大廣場東拓ビル、滿洲評論社、十五錢）

論文的小說

—河利致「窓を開けよ」（『滿洲行政』七月號）—

われわれはこの作者の作品を最近だいぶん讀まされて來た。この作者はつねに一つの何らかの主張をその內容に含ませた作品を書く人のやうである。さうした作品の一つとしてこれも讀まれた。

こゝには內地で思想運動などやつたことのある男、彼が召集されて滿洲にわたり、生命を賭した戰場馳驅の間に新しら人生觀をつかみ、決然とした生き方で生活して行くことが書いてある。一度鄕里に歸つたその男を見て鄕里の人間は彼も變つたと評するが、それは外貌だけを見てゐるので、その中味を知つてゐるのではない。彼は一人の女を愛し結婚するが、女の肉親たちは彼の過去の業跡のためかその結婚を認めようとしない。「生活への抗議」——さう傍題されてゐるが、これは正しくは世俗的なものへの抗議だとすべきであらう。若しくは生活を以ての抗議だとすべきであらう。

ところで理窟の上では、作者の言ひ分は一應わかるのであるが、その言ひ分が作品の上からぴつたりとわれらの感性に訴へて來るかといふと、さうは行かぬのである。こゝにこの作の缺陷があるであらう。つまり物語から、人物から、その感じ方から作者の訴へがにじみ出ては來ないのである。したがつて、これは「抗議」であるよりも「辯明」みたいに見える。「言ひ逃れ」みたいに聞える。形だけは小說を成してゐるが、あまり上出來でない小論文みたいなものなのである。……作者の深思すべき問題があるのではあるまいか。

（御垣衛士）

學藝消息

△「大陸讀物叢書」月刊滿洲社では上記叢書を刊行することとなり、近く天野光太郎著「二重生活者の手記」庄司鐘吉著「何とかスキーの娘」山口海旋風著「題未定」を近刊する

花萠る（短歌）

西谷正夫

凍る鼓動にひたと乳房を摑まれ
こゝに影透の星となり女となる
研がれるメイヤ青い翅は透かして
想ひでは淡すぎる
掌に秘めてゐるのは戰慄の潮鳴り
青春はなほ一筋の糸につながり
美しい無聲の夜
凍る花の鼓動を呼ばれ放心の夢を辿る
青ぞらのしみとほるみち
白さに胸研がれ吐く息の切なく
落ちた花辨
こんな少女がかしこいと誰も知るまい
和蘭苺に我儘な思案がひろがつてゆく

—七、十二—

樹海

樹海の鄕愁よ
七月の灯は背教者の囀りにつゝましい
醉ひ痴れて胸裡に赤く火を轉す
植物の體温こもるころかな
光る海　樹海の果てに夏胸けむとす
たかだかと空に海の潮鳴り
泡沫のつぶやきは樹海風景に踊り替へやう
余りに卑屈な戀の燃えさし
樹海の愛撫　追憶の翅は銖のミューズに羅ぶつてゐる
樹海の靜養に浪漫主義者の思想が點綴される
あすを映す儚い反響である

—七、十二—

支那の文學革命について（四）

大內隆雄

民國十年になつて、文學革命運動は第二の敵を迎へた——それは折衷派の『學衡雜誌』であつた。

學衡派の中堅人物は胡先驌等の留學生達であつた、彼等の宗旨は「國粹を昌明し新知を融化す」といふのであつた換言すれば、彼等は古文の範圍で改良しようといふので、文學革命に反對した、胡先驌は言つてゐる。

「某不佞、亦曾つて外國に留學し、英國文學に寢饋し略世界文學の源流を知り素文學改良の志を懷く、且つ胡適之君の意見と符合する所多し、獨り敢へて歯弄滅裂の擧而して白話を以て文言を推倒するをなさざるのみ。…」（胡氏論「中國文學改良論」）

これは最もよく折衷派の意見を代表してゐる。だが時代の潮流はすでに文學の革命に注がれて居り折衷派の議論も大なる影響は與へなかつた

民國十一年胡適氏は彼の「五十年來中國之文學」に於いて文學革命の完全なる勝利を宣告した。彼は言ふ

「〃學衡〃の議論は大概文學革命の尾聲に反對した。私は大膽に言ひ得る、文學革命はすでに討論の時期を過ぎ、反對黨は已に破產した。これ以後、完全に新文學の創造時期となつた。」

事實、文學革命は討論の時期を過ぎた、ただ「學衡」が反對黨の最後であつたのではなく、文學革命には最後の敵がゐた——章士釗の『甲寅周刊』である。『甲寅周刊』は民國十四年に出版された、その項章士釗は司法總長兼教育總長であり名聲勢頗る大であつた。だが文學革命運動はもはや深く人心に入つてゐた、新文學は漸次その基礎を作りつつあつた。根は深く下されてゐた。章士釗の最後の奮鬪も新文學を毫も搖がすことは出來なかつた。そこで稚暉氏は正式に舊文學の死亡を宣言し「友喪」といふ一篇を書いて章氏の喪を發した。これより文學革命運動に反對する者もゐなくなつた。

× ×

この數十年來の支那學術思想界の動きの中で、文學革命運動はその一部をなすものである。新文化運動の根本意義は一方には支那固有の舊文化の缺陷を承認し、同時に西洋の文化を接受することを提唱したものであつた。いはゆる西洋の文化には二つの特徵があつた、一つは科學であり、も一つはデモクラシーであつた。この數十年來支那思想界は一日としてサイエンスとデモクラシーの影響を受けないことがなかつた、五四運動以後にはその影響は日一日と深まつた。新文化運動はその二つを提唱した。

新文化運動は戊戌維新運動の頃に始まつた、だが民國五年になつて正式に提唱された新文化運動の中堅人物は當然に文學革命運動に從つた人々であつた、新文化運動の反對者は章士釗等の人物であつた尤も章氏等の反對は曇花の如く瞬く間に幻滅した。

新文化運動以來、學術思想上の最重要な事業は文學革命實驗主義の提唱、辯證法的唯物論の引進…の如き、何れも新文化運動の範圍內のものであつた。

以上は五四元氏著「中國新文化運動概觀」によつて書いたものである。更に視角を變へた立場からのものと見ることにしよう。

大同公園相撲場 盛大な土俵開き

國民の心身鍛錬の道場として市公署が大同公園に新設中であつた相撲場が出來上つて、十九日關東軍、海軍武官府、滿洲國政府、特殊會社役員並に折柄來京中の大日本相撲協會長竹下海軍大將、春日野取締役、双葉山、男女川兩橫綱以下各幕內力士等多數參列のもとに古式に則る盛大な土俵開き式が擧行された、午後四時半植田幹事長の開式の辭あり式守勘太郎氏の修祓の儀についで式守伊之助氏祝詞を奏上納幣、一方屋開口式の古儀ありて土俵祭を終へ關屋副市長の挨拶、關東軍參謀長、星野長官、春日野相撲協會取締役の祝辭あつて閉式、勝栗、スルメで乾盃をなし午後六時目出度く終了した【寫眞は土俵開き】

新京場所愈よ蓋開

けふの好取組 宮城野年寄勝負豫想

國都をあげて待ちに待つた東京大相撲はけふ廿日から向ふ五日間大同公園の新設相撲場で滿洲場所最後の決戰として華々しく擧行されるが、本社では待望あつき讀者のため特にその昔鳳橫綱で斯界を風靡した宮城野年寄に連日勇壯な勝負の豫想並に戰評を依賴し鶴首して待つ愛角家の希望に副ふことになつた、乞期待されんことを

初日豫想

△五ッ島─名寄岩　出足早く五ッ島名寄岩のふところに飛び込んだら面白い相撲となるだらうが名寄もさるものなか〳〵五ッ島得意左四つに組ませぬと同時にふところへは入れないだらうから先づ名寄に勝目と云ふかな

△羽黒山─兩國　旭日の勢でつつぱつてゐる羽黒山昇り坂だけに氣で強味はあるがヤグラ、ウッチャリと腰自慢の兩國のこと故そう簡單にはゆかないだらう

△龍王山─鏡岩　引退するとは云ひながらも流石は相撲巧者と云はれる鏡岩に向ふ龍王山は相當苦勞はするだらうが一氣呵成におしまくる元氣で龍王山が勝つかもしれない

△前田山─綾昇　がつぷり四つに組んだら先づ前田山のものだらうが上つつぱりの強い綾昇巧者に立ちまはつたら相撲は面白く展開してウッチャリなんかで綾昇に軍配があがるんぢやないかな

△男女川─安藝海　まづ男女川の勝が順當だが安藝海出足早く機先を制してふところに飛び込みでもすれば何とも云へない相撲になるだらう

△双葉山─出羽湊　互に右四つの相撲、これががつぷり組んだら恐らく双葉山のものだらうが變化に富んだ器用な出羽のこと故何とも云へぬところがある

萬一の場合を顧慮 國民の緊張を促す

新京、吉林省に防空下令

去る十六日午前三時三十分頃外蒙ソ聯爆擊機は滿領內侵入、富拉爾基附近を盲爆、同日午後六時四十五分頃更にハロンアルシャンに侵入し來り驛を目がけて爆彈數十個を投下する等不法行爲が募りつゝある際、萬一の場合を顧慮するとともに國民の緊張を促すため十六日から新京特別市及び吉林省に防空下令となつたが、十九日新京防備司令部では右に關し左記の如く發表した

【七月十九日午後六時新京警備司令部發表】七月十六日新京特別市、吉林省に防空に關し下令せらる、防空下令とともに左の事項の實施を命じたり

一、燈火管制規定第十二條に依り廣告燈、看板燈、裝飾燈の消燈を命ず

二、警報類似の音響、サイレンの吹鳴を禁止せり

平常を失するな

防備司令部より注意

防空下令發表に當り新京防備司令部では國民に對する希望事項として左記の注意を當局談の形でなした

一、國民は完全なる防空陣を信賴されて毎年實施してゐる防空演習の體驗と訓練の成果を充分發揚せられ所要の警護に當ると共に流言蜚語を滅しめて常の如くにそれぞれ安居業に服されんことをのぞむ次第である

二、只今は燈火管制の第十二條の一部を適用せられてゐるに過ぎないのであるから警戒警報の發令がなき限り警戒管制は實施する必要がないのである

三、十九日早朝訓練の目的を以て警戒警報を發令した結果によると一部の方面に於いては警報傳達が充分行き渡らなかつた爲、警戒管制實施が充分でなかつた、之に反して某方面では警戒管制實施があまりに嚴重に過ぎたため暗きに失した所がある、規定の許される範圍に於いて充分燈火を利用し長期に亘つても生活の平常を失はない樣にして貰ひたいのである

燈管第十二條（內容）

警戒管制と同一視するは誤り 警報區別にも注意

燈火管制の第十二條は防空下令から直ちに司令官は所要に應じて廣告燈、裝飾燈、看板燈その他必要なる屋外燈の消燈を命ずることを得と規定されてをり、現在新京特別市に實施されてゐるのはこの第十二條によるものであるが、義勇奉公隊員等の中には警戒管制と同一視し門燈を消燈せよと迫つたり、警戒警報と空襲警報を誤まり屋內燈を全部消燈せよと投石した事實等もあるので當局では義勇奉公隊員を戒しめると共に、市民は不當の非難に對しては應ずることのない樣要望してゐる

避難演習

寶山、長春座に實施

滿蒙國境の風雲急なる折柄去る十六日防衞當局より防空に關して下令あり、各種關事つて國都の空防衞に汗だくの活躍をなしてゐるが中央通署では十九日午後四時より市原署長自ら陣頭に立ち家田警務主任、河野衞生、和泉澤保安各主任他幹部を帶同寶山百貨店に至り、同店員による顧客大衆を空襲警報とゝもに地下室に避難せしめる演習狀況並びに防空諸施設を具さに視察した

日頃訓練の腕前を發揮各階とも店員の誘導よろしく一糸亂れざる統制裡に買物中の客を僅か數分にして地下避難所に避難させ視察の一行を感歎せしめ、署長より同店幹部に對しいざと云ふ時の心構へその他について注意をなした

續いて五時より吉野町長春座觀客避難演習狀況視察に赴き先づ非常口、燈火管制設備に眼を向け改良すべき個所を一々指摘注意した後五時半頃幕間を利し從業員及び日本橋通派出所員、奉公隊補助員の誘導により避難演習が行はれたがこゝも訓練行屆き連絡統制よくとれ避難開始の合圖とゝもに觀客二百名の中には明二十日新京場所初日を前に悠々見物のお相撲さん數名も混り足並揃へて公會堂前避難所に見事に避難、好成績を收め六時避難實習に一段と認識を深めて終了した

故障で鳴る 昨朝のサイレン

十九日午前十一時半ごろ突如サイレンが鳴り渡りスワ何事か……と市民を驚かせたが右はサイレンの故障から自動的に鳴り出したことが判明、直ちに電線を切斷して停止せしめた

醉ッ拂ひ總檢束だ

夜の歡樂街に遊動班

緊迫せる時局下、夜のネオン街に橫行する大虎小トラは苦々しき限りとして市民の指彈を買つてゐたが、首都警察廳ではこれ等泥醉連に銃後國民としての緊張を促すべく司法、特務の刑事を主體に數隊の遊動班を編成、市內を巡視せしめて泥醉徘徊、放歌高吟の徒を嚴重取締ることになつた

滿鐵社員に露語講習

滿鐵では非常時局に際し一朝有事に處すべき社員の訓練には最も重きを置き男女社員の小銃拳銃の射擊、自動車、飛行機の操縱練習を實行してゐるが內にあつては露西亞語の修得に全力を集注し來るべき日に備へてゐる、就中新京支社では今まで希望者のみにて行はれてゐた露西亞語講習を支社全員に擴大毎日午後一時から一時半まで必須時に修得させることになつた

二百圓紛失

東三條通三二飯島安三郎氏は十八日午後九時頃朝日通から日本橋通南廣場までの間で現金二百七十圓入りの財布を紛失中央通署に屆け出た

北米西部向け對外放送 けふ開始の運び

新京電波世界の空へ

かねて新京中央放送局において準備中のヨーロッパ及び北米西部向け短波對外放送は來る九月一日より開始の豫定であつたが、緊迫せる世界情勢に鑑み一日も早く國際友誼と親善を圖る必要を痛感、豫定を早めていよいよ廿日より世界電波場裡に華々しく登場することゝなつた、なほ當日は午後二時五十分よりの北米向け放送の開始に先立ち新京中央放送局第五スタヂイオにおいて外務局長官、弘報處長、關東軍報道班長ほか各弘報關係者列席の下にオープニング・セレモニーを擧行し修祓、スヰッチ入式、前田放送部長挨拶、來賓祝辭、乾杯を終了のゝちこの對外放送を試聽することになつてゐるが同放送は同時に國內へも放送される

ボール難に快報 代用品が出來た

けふから一齊賣出し

大衆向きの運動用具として需要の多いボールが生ゴムの統制以來日本から思ふやうに輸入されないため品物がなくなり値段も昂騰して來たので街の運動家はラケットやグローヴを持つて髀肉の嘆をかこつ狀態であつたが、民生部では國民大衆の保健上ゆるがせに出來ないとばかり經濟部當局といろ〳〵代用品について考案のところ五月以來體育運動用具整備統制要綱を作つて生產や配給、價格統制について種々案を練つた結果、從前のボールとちつとも變りない立派なボールの製造に成功、この程現品が出來上り市場に出ることになつた、この製品は滿洲生活必需會社が運動具商聯合會を通じて最高價格を決め廿日から全國に賣出すことになつた、小賣値段は左の通りで何れも市價より遙かに安くなつてゐる

▲庭球ボール一個廿五錢（一打三圓）三十錢（一打三圓六十錢）（約五割安）▲スポンヂボール一個六十五錢（一打七圓八十錢）（約四割安）

法大中隊感謝狀

興亞勤勞奉仕隊に晴れの滿洲參加者として去る十三日新京を出發した法政大學中隊は十四日午後目的地濱江省安達に到着、先着の日本側約四百名と合流、日滿一體一心の實を發揮して奉仕にいそしんでゐるが、出發に際しての熱い市民の熱誠に對して感謝すると共にこれに應へて一ケ月の期間中に所期の使命達成に努めんと本社を通じて市民各位に宜しく通信があつた

訂正

十九日附本紙朝刊七面「慰勞會の寄贈美談」記事中央通松浦組とあるは東二條通松浦組の誤りにつき訂正

軍用適種犬 免稅に決定す

全滿都市稅務協議會

第七回全滿都市稅務協議會第一日十九日午前中の議題は一、省地方費稅、牲畜稅の市縣移讓方請願の件二、省地方費稅たる牲畜稅を地方稅に移讓方要望の件三、地方稅制改革要望の件四、稅制等地方稅制の均衡是正方要望の件五、法人營業稅超過所得附加稅徵收方を市に歸屬要望の件六、觀覽稅範圍に關し各市同一取扱方の件で協議の結果、一、二、三、四、五の諸件は地方費の運用によつて適宜調節をとるも大體において從來通りとし、六に關しては近來軍隊慰問、獻納資金募集の諸催しが行はれる場合、全滿各都市の方針がまち〳〵で不便を感じてゐたが、この機會に劃一的方針を決定することゝなつた、また畜犬稅に就ては各都市共適種犬で滿洲軍用犬協會に登錄あるものに限り免稅することに決定した

九萬圓突破

海軍への赤誠獻金

今次支那事變以來銃後國民の海軍に對する感謝の赤誠は國防獻金恤兵獻金となつて現はれ幾多の美談佳話は當局を感激させてゐるが五月一日から七月十四日まで新京海軍武官府への獻金は九萬七百十六圓五十錢の多額に上つてゐる、內譯は左の通り

▲百圓（安東南部新吉）▲二〇圓（新京市曙町森下和子）▲七六圓五〇錢（奉天市山地準太）▲三〇圓（奉天造兵所銃彈製造所影山佐吉）▲五百圓（大新京料理店組合）▲一萬圓（吉林市新開門外吉林五常伐採造材組合代表組合長今村知光）▲八萬圓（本溪湖煤鐵公司理事長大崎新吉）合計九萬七百十六圓五十錢

兒玉公園にブランコ寄贈

興安大路五二五東光洋行商事部戶田龜雄氏は兒玉公園內子供遊び場施設の不備を痛感十八日三重洋行製作のブランコ一個（價格約百三十圓）を兒玉公園に寄贈したが、公園事務所ではこの美擧に感激市公署宛感謝狀贈與方申請した

竹下協會長南嶺戰跡參拜

大日本相撲協會長竹下海軍大將は十九日午後寬城子並に南嶺戰跡に參拜した

小麥配給六月分の半量

區長會議決定

新京特別市の市街地區長會議は十九日午前中より市公署會議室で開催され例月の如く區長の手を經て市民に配給される小麥粉の割當數量を協議したが、結局七月分は建設方面苦力及び業者への配給が比較的に增加してゐるので區より配給される分は六月分の約半分である一萬袋と決定、現物は近く大連より到着することとなつてゐるが、極力小麥粉以外の代用食を奬勵することとなつてゐる、なほ小麥粉問題の外防空警護隊計畫について市の防護股より簡單な說明があつた

夏季電氣講座

滿洲電氣協會は滿洲に於ける電氣技術の進步向上を圖るため大連、奉天、新京、哈爾濱の四ケ所に於いて來る八月十四日より第一回夏季大學電氣講座を開講することになつた講師その他左の通り

△場所日時　大連（協和會館）八月十四日＝十九日、奉天（滿鐵社員俱樂部）八月十七日＝廿三日、新京（滿鐵社員俱樂部）八月廿一日＝廿六日、哈爾濱、八月廿四日＝卅日

△科目及講師　「水火力發電について」遞信省電氣局技師　三ッ井新次郎「電氣化學工業」東京工業大學教授工學博士　武井武「電氣照明に就て」電氣普及會常務理事　伊藤奎二

△聽講料　金五十錢

經濟部に價格貯蓄二科新設

經濟部では近く物價委員會に於いて決定される物價統制方策の的確なる實施を期するためかねて主務官廳としての機能擴充につき研究中であつたが此の程商務司內に新に價格科を、金融司內に貯蓄科をそれぞれ設置することゝなり右官制案を來週の國務院會議に諮つた上八月一日より實施する豫定である

首都警察廳管下六警察署の保安主任中一番の變り種順天署同部保安主任は物事凡て曲つたことが嫌ひでビシ〳〵やるものだから曲つた方面からは恨まれもするがあれで佛心もあれば、ありあまる人情に惱まされてもゐる▼同氏のズーズー辯もまた有名の部に屬する方だが新規許可の女給など一回ぐらゐ言はれたのでは解らない▼「マズメにマツガヒのない樣にやるんだよ」「エ？」「マズメ（眞面目）にやるんだよ」二回言はれてやつと解つた女給、なまじつかペラ〳〵と早口に言はれるよりずつしり重い東北辯がかへつて身にしむとみえて思はずつりこまれ「ハヘイ、マズメにやります」とホッリ▼嬉しい風景をみせてゐる

女人果（九十）

小栗虫太郎作　中島喜美畫

八千葉の悲劇（伸子の手記）(10)

それから、金蓮の母親とは門際で別れ、裏手の、勝手口まで來ると灯りが點いてゐた。覗くと、なかに下婢がぼんやりしてゐる。

『姉や、あたし、開けて頂戴』

しかし、その聲はなか〳〵耳へは屆かなかつた。

下婢は、怯えたやうな暗い顔をし、見ると、扉には撓き台が支はれてゐる。

『どうしたのだらう？』

多分、兵士の侵入が恐ろしいにはちがひないのだが、しかし昨夜まで、婢やにはこの事がなかつた筈だ。

母がゐる以上、婢やに淫獣の手が伸びるはずはない。

と思ふと、胸が豫感のやうなもので、騒ぎはじめた。

しかしオメ〳〵母の部屋の扉を叩けるだらうか？。

『婢や、開けてよ。』

とたんに、下婢は飛びあがるやうな、表情をした。

顔は蒼ざめ、眼は恐怖にくらみ、人の相ではない。

（おそらく、兵士の蹂色と感ちがひしたらしいのだ。）

『婢や、私なの、伸子……分つて？』

すると、下婢はやつと疑ひ出したらしく、怯々、それでも扉口に近附いて來た。

『開けて……婢や……伸子よ。』

伸子が、此處でと云ふと、扉は、下婢の手で細目に開かれる。

そして確めたとき、意外にも、下婢の眼が乾つと険かなものになつた。

『ママお嬢さま、昨夜はどうなさつたのです？』

『あのう……』

と、伸子は躊らめるやうな氣持で、

『ゆふべは、子供さまを、お尋ねしたもんだから……で、お母さまなんて云つてた……？』

『……』。

すると、どうしたことか、

下婢の顔が急に歪みはじめ、眼からは大粒の涙がパラ〳〵とこぼれる。

『どうしたの、婢や？』

伸子は、溺らないものに襲はれた。

云はずとも、多分豫感が當るだらう、きつとこれは、留守中母の身に何事かあつたにちがひない。

『云つて婢や』

『……』

『云つてよう』

『……』

『なにか、お母さまにあつたんぢや……？』

すると下婢には、伸子を責めるやうな表情が消え、いまは悲哀、たゞそれだけになつてしまつた。

『ゆふべ……お留守中に……お嬢さま、飛んだことが出來てしまつたのです。』

『……』

『先生――お嬢さまのお母さまはお歿なりになりました』

『えつ、お母さまが……』

伸子は、蹌踉いて、壁に身を支えた。

自分もこの家も、大地が割れて落ち込むやうな、見えるものは、みな充血のせいか燃えるやうだ。

『それも、拳銃で自殺をなさつたのです。一時はどうやらお取り止めの御様子でしたけど、なにしろ、もう大變な御出血で……』

母が、死んだ、自殺をした

と伸子には、しばらく吹き荒む風のやうなものが聴えてゐた。

子供が死に、續いて母も……。

その、母も子供も、自分で自分の命を絶つてゐる